

第2期宮津市スポーツ推進計画

平成30年12月

宮 津 市

目 次

第1章 計画の策定にあたって	1
1 計画策定の趣旨	1
2 計画の位置づけ	2
3 計画の期間	2
4 計画の視点	3
第2章 宮津市のスポーツ環境の現状と課題	4
1 宮津市民のスポーツ意識調査結果	4
◇ 成人のスポーツの実施状況	5
◇ 市民はどんなスポーツをしているのか	7
◇ 市民は今後どんなスポーツをしたいと思っているのか	9
◇ 小学生のスポーツの実施状況	11
◇ 中学生のスポーツの実施状況	12
◇ 小中学生のスポーツの嗜好性	13
◇ 市民の休日の過ごし方	15
◇ 市民はどのような条件が満たされれば運動やスポーツをするのか	17
◇ 市民の健康意識	20
◇ 市民はどの程度スポーツを継続しているのか	22
◇ 市民がスポーツをする目的	23
◇ 市民が望む体育・スポーツ、レクリエーションの指導者像	25
◇ 市民の障害者スポーツに対する意識	27
2 宮津市のスポーツ施設と施策	32
(1) スポーツ施設	32
① 市内スポーツ施設の利用状況	32
② 学校開放の利用状況	33
◇ 公共スポーツ施設のサービス	33
(2) スポーツ施策	38
① スポーツ関連施策	38
② スポーツ観光施策	39
3 宮津市のスポーツ団体の状況	40
(1) スポーツ団体の状況	40
① 宮津市体育協会加盟団体	40
② 総合型地域スポーツクラブ	40
◇ 市民のスポーツクラブの加入状況	42

第3章 基本的な考え方	43
1 基本理念	43
2 計画の目標	44
3 施策体系	45
4 具体的施策	46
基本目標1 ライフステージに応じたスポーツの推進	46
○ スポーツによる市民の健康づくりの推進	46
○ スポーツを通じた健やかな子どもの育成	47
○ 高齢者のスポーツ活動の推進	48
○ 障害者スポーツ活動の推進	48
○ 「総合型地域スポーツクラブ」の育成・支援	49
基本目標2 多様なスポーツを支える環境の充実	50
○ スポーツに親しむ機会の充実	50
○ スポーツに親しむための情報サービスの向上	51
○ 既存スポーツ施設の整備・充実と有効活用	51
○ 自然を活かしたスポーツ環境づくり	52
基本目標3 まちに夢と元気を与える競技スポーツの振興	53
○ 競技力の向上	53
○ 高い技術に触れる機会の充実	54
○ 指導者の育成・確保	54
基本目標4 スポーツ交流によるまちの元気づくりの推進	55
○ 大会・イベントの誘致	55
○ スポーツキャンプや合宿の誘致	55
○ スポーツによる地域コミュニティづくりの促進	56
第4章 計画の推進に向けて	57
1 計画の推進	57
2 計画の評価と見直し	57
第5章 資料編	58
○ 第2期宮津市スポーツ推進計画策定経過	58
○ 宮津市スポーツ推進計画策定委員会委員名簿	59
○ 宮津市内の公共スポーツ施設一覧	60
○ 宮津市内のスポーツ団体一覧	61

第1章 計画策定にあたって

1 計画策定の趣旨

スポーツは、心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進を図るとともに、人間の身体的・精神的な欲求に応える世界共通の人類の文化の一つであり、生涯にわたり心身とも健康で文化的な生活を営む上で不可欠なものです。さらに、次代を担う青少年の生きる力をはぐくむとともに、他者への思いやりや、協同精神、公正さや規律を尊ぶ等人格形成の大きな力にもなります。

また、スポーツを行うことで生まれる、人と人及び地域と地域の交流は、地域の一体感や活力を醸成し、さらには観光・商業の振興など、まちの活性化に大いに期待できます。

近年、ライフスタイルの変化と健康意識の高まりの中、スポーツの役割、市民のニーズはますます大きくなっています。

本市では、平成20年3月に宮津市スポーツ振興計画を策定し、だれもがスポーツに親しむことができる「生涯スポーツ社会」の実現に向けて、取り組みを進めてきました。

国においては、平成23年6月に50年ぶりに「スポーツ振興法」が全部改正され「スポーツ基本法」を制定されるとともに、これを受けて平成24年3月には「スポーツ基本計画」が策定されました。ここでは、「スポーツを通じてすべての人々が幸福で豊かな生活を営むことができる社会」の創出を目指していくことが必要であると示されており、市町村においても国等の施策と連動したスポーツ振興施策の展開が求められています。さらには2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、これから、スポーツに対する関心が一段と高まることが期待されています。

こうした状況を踏まえ、宮津市スポーツ振興計画を評価・検証するとともに、市民意識調査の結果や国の定める「第2期スポーツ基本計画」、「京都府スポーツ推進計画」及び市の関連計画を踏まえながら、「スポーツを通じた人とまちの元気づくり」を目指して、「第2期宮津市スポーツ推進計画」を策定しました。

2 計画の位置づけ

本計画は、国の「第2期スポーツ基本計画」、「京都府スポーツ推進計画」の理念を踏まえるとともに、「みやづビジョン2011」「宮津市教育振興計画」等、本市の関連計画との整合性を図り、策定しています。

また、本計画は、本市におけるスポーツ振興施策を総合的・効果的に推進するために、市民、地域、学校、行政、その他関係機関が連携を図りながら、協働で取り組むための指針となるものです。

3 計画の期間

本計画の期間は、2018（平成30）年度から2022（平成34）年度までの5年間とします。

なお、本計画に基づく施策の実施状況や成果等について適宜検証を行なうとともに、社会・経済情勢など環境の変化により、新たな施策の展開や見直しが必要となった場合には、柔軟に対応していくこととします。

H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
国:スポーツ振興基本計画 (H13~H23 10年間)					国:スポーツ基本計画 (H24~ 概ね5年間)					国:第2期スポーツ基本計画 (H29~H33 5年間)						
										京都府スポーツ推進計画 (H26~H35 10年間) *5年を目処に計画の見直しを予定						
宮津市スポーツ振興計画 (H20~H29 10年間)										第2期宮津市スポーツ推進計画 (H30~H34 5年間)						

4 計画の視点

計画の視点として、スポーツの範囲を、競技種目だけにとどまることなく、ウォーキングやジョギング、エクササイズなど、レベルや内容に関わらず、体を動かすすべての運動と捉え、個人の関心や目的、体力に応じてスポーツに親しむ社会を目指し、取り組みの方向性・内容を示しています。

また、競技力の向上については、各種競技を支える各競技団体が安定的・継続的に活動できるよう組織力を高めるための支援に重点を置くとともに、アスリートの育成については、本市の競技施設、指導者等、選手の育成環境を踏まえ、地域住民や行政、学校、企業等が互いに連携を図りながら、わがまちのトップアスリートを育み、支える体制づくりを進めます。

あわせて、本市の豊かな観光資源を活用し、各団体と連携を図りながら、スポーツと観光が融合した取り組みを推進するなど、スポーツが地域の元気づくりにつながる取り組みを進めます。

第2章 宮津市のスポーツ環境の現状と課題

1 宮津市民のスポーツ意識調査結果

本計画の策定にあたり、市民のスポーツ活動の実態、スポーツへの意識を把握するため、「宮津市民のスポーツに関する意識調査」（以下「意識調査」という。）を実施しました。

本章では、この意識調査の結果に加えて、現在市内で展開されているスポーツ関連事業や、体育施設の利用状況、スポーツ団体の状況などを整理し、宮津市におけるスポーツ環境の現況と課題としてまとめました。

「宮津市民のスポーツに関する意識調査」の概要

一般市民

調査対象及び調査数	市内在住の20歳から70歳までの宮津市民 1,000人
調査期間	H29.9.11～9.29
有効回収率	37.9%

小学生

調査対象及び調査数	市内在住の小学5・6年生 286人
調査期間	H29.9.11～9.29
有効回収率	100%

中学生

調査対象及び調査数	市内在住の中学生 378人
調査期間	H29.9.11～9.29
有効回収率	100%

◇ 成人のスポーツの実施状況

意識調査の結果、「成人の週1回以上のスポーツ実施率」は32.3%（週に3日以上14.0%・週に1～2日18.3%）であり、3人に1人しか週1回以上スポーツを実施していないという結果となりました。

過去の調査結果との比較では計画策定時の平成19年の24.8%（週に3日以上6.6%・週に1～2日18.2%）からは7.5ポイント上昇したものの、依然目標の50%には遠く及んでいない状況にあります。

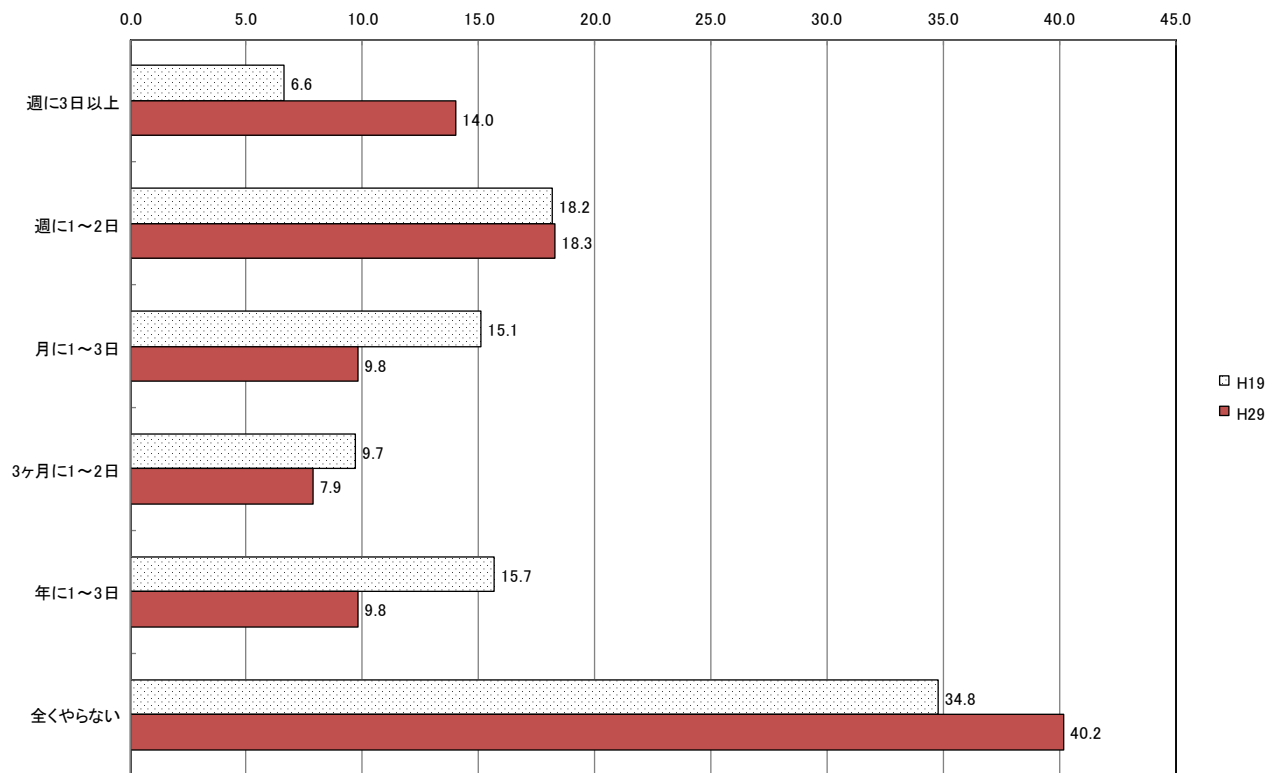
また、「全くやらなかった」人の割合は前計画策定時の34.8%から5.4ポイント上昇し40.2%であり4割の人が全くスポーツをしていないという結果となっています。

これらの結果から、運動やスポーツを「する人」と「しない人」に二極化がより一層進行してきている状況です。

京都府民の実態調査と比較すると、京都府民で運動やスポーツを「週1回以上した」人は48.7%で宮津市民より16.4ポイント多く、逆に「全くしなかった」人は12.2%で28ポイント少ない状況であり、宮津市民のスポーツ実施率は京都府民全体と比べてもかなり低いことから、まずスポーツを全くしていない人いかにスポーツをしてもらうかという視点も入れながら、より多くの市民が運動やスポーツの効果を実感し、より一層スポーツに親しめる取り組みが必要です。

表1 あなたは運動やスポーツをどの程度行ないますか

	H19	H29
週に3日以上	6.6%	14.0%
週に1～2日	18.2%	18.3%
月に1～3日	15.1%	9.8%
3ヶ月に1～2日	9.7%	7.9%
年に1～3日	15.7%	9.8%
全くやらない	34.8%	40.2%



*参考（平成 29 年度京都府民のスポーツに関する実態調査）

府内の成人が運動やスポーツを行った日数（表 1 関連）

週に 3 日以上	24.7%
週に 1~2 日	23.9%
月に 1~3 日	20.2%
3 ヶ月に 1~2 日	9.1%
年に 1~3 日	4.0%
運動やスポーツはしなかった	12.2%
不明・無回答	5.8%

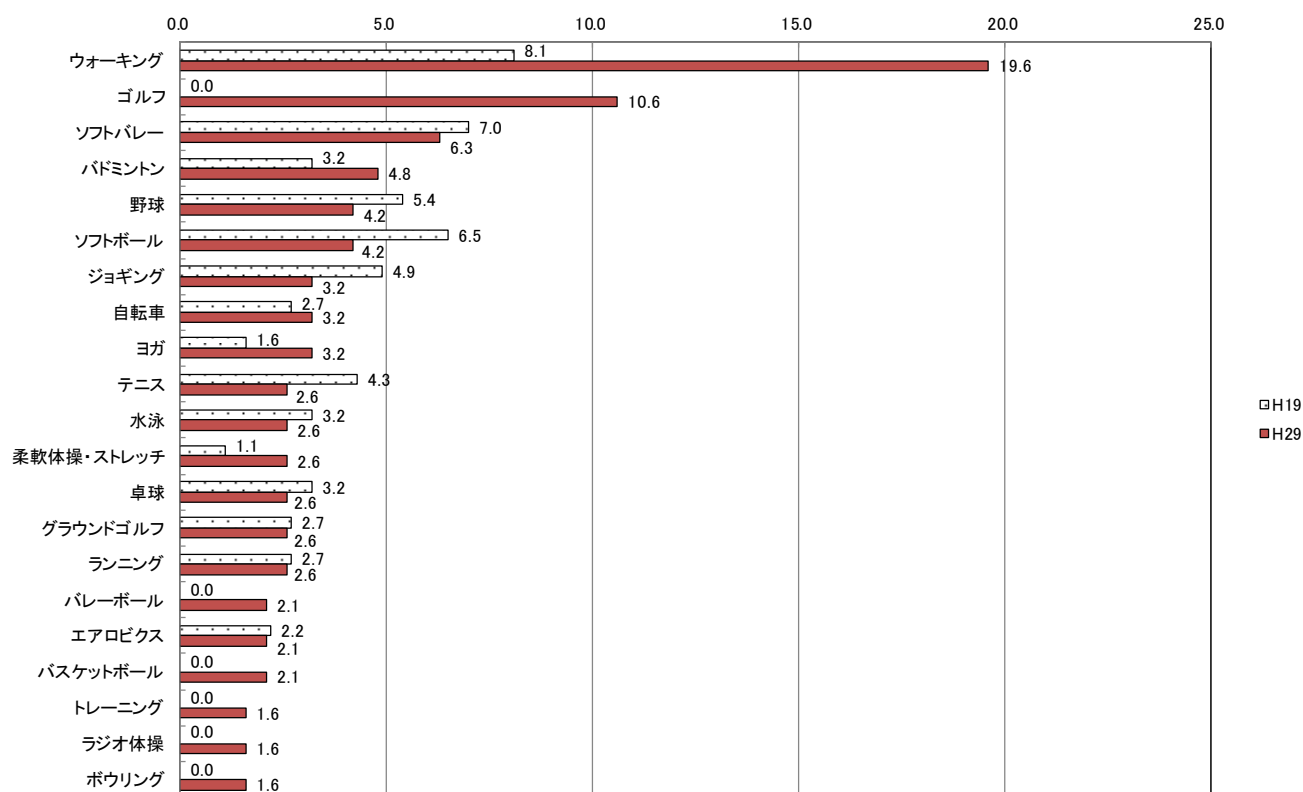
◇ 市民はどんなスポーツをしているのか

この1年間で最も多く行った運動やスポーツ活動の種目で最も多かったのが、「ウォーキング」(19.6%)で市民の5人に1人が「ウォーキング」に取り組んでいるという結果でした。前計画策定時から11.5ポイント増加していることから、平成23年度から市を挙げて取り組んでいる「歩くことから始める健康づくり運動」が一定浸透していることがうかがえます。以下、「ゴルフ」(10.6%)、「ソフトバレー」(6.3%)と続きます。

表2 この1年間で最も多く行った運動やスポーツ活動(種目・内容)は何ですか。

種目	H19	H29
ウォーキング	8.1%	19.6%
ゴルフ	0%	10.6%
ソフトバレー	7.0%	6.3%
バドミントン	3.2%	4.8%
野球	5.4%	4.2%
ソフトボール	6.5%	4.2%
ジョギング	4.9%	3.2%
自転車	2.7%	3.2%
ヨガ	1.6%	3.2%
テニス	4.3%	2.6%
水泳	3.2%	2.6%
柔軟体操・ストレッチ	1.1%	2.6%
卓球	3.2%	2.6%
グラウンドゴルフ	2.7%	2.6%
ランニング	2.7%	2.6%
バレーボール	0%	2.1%
エアロビクス	2.2%	2.1%
バスケットボール	0%	2.1%

トレーニング	0%	1.6%
ラジオ体操	0%	1.6%
ボウリング	0%	1.6%
サーフィン	0%	1.1%
ボルダリング	0%	1.1%
種目	H19	H29
マラソン	2.2%	1.1%
スケートボード	0%	1.1%
スキー	4.3%	1.1%
ダンス	0%	1.1%
登山	0.5%	1.1%



◇ 市民は今後どんなスポーツをしたいと思っているのか

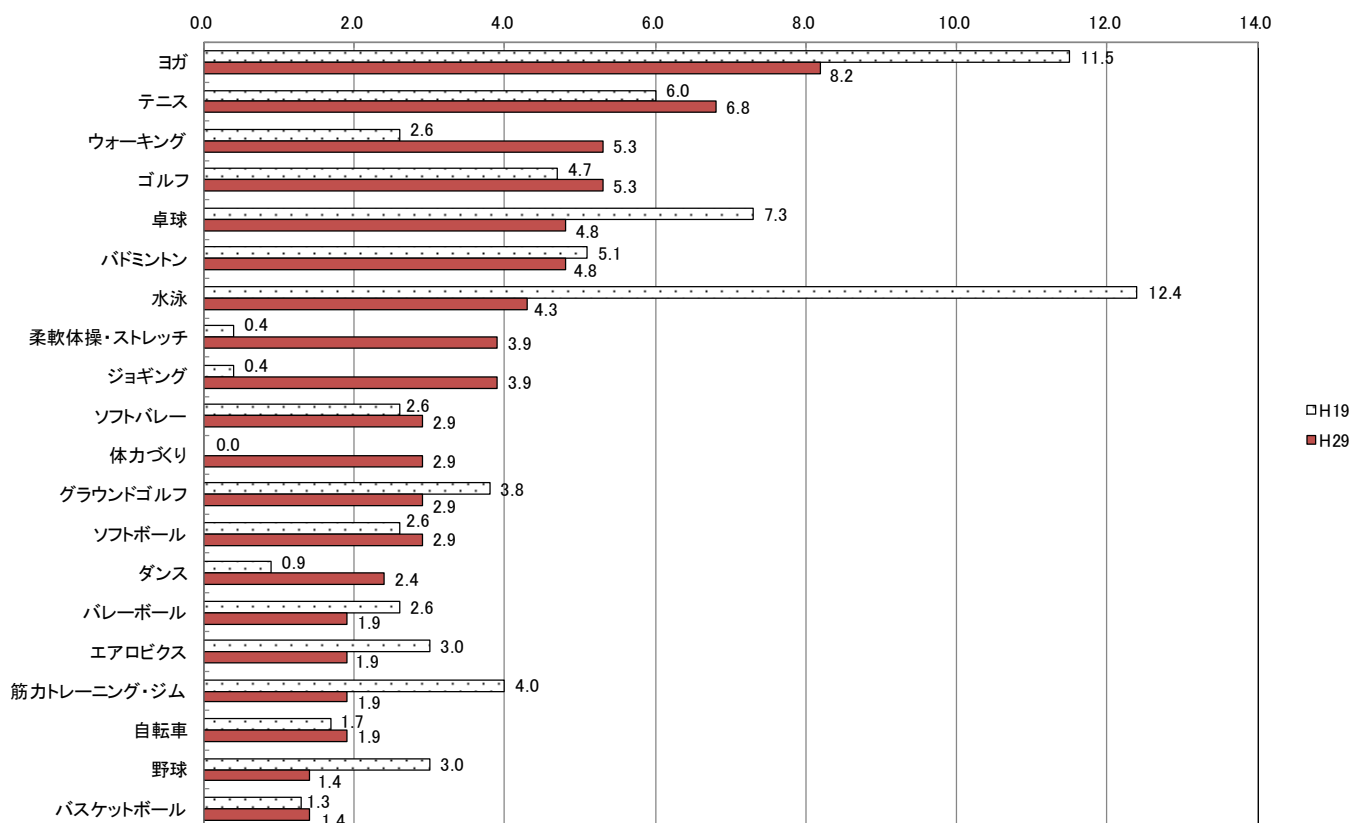
今後、やってみたいスポーツ活動としては、最も多いのが「ヨガ」(8.2%)で、「テニス」(6.8%)、「ウォーキング」(5.3%)、「ゴルフ」(5.3%)と続きます。特に「ウォーキング」に取り組みたいという人は、前計画策定時から倍増(2.9%→5.3%)しています。以下については表3のとおりでした。

余り負担になることなく気軽に楽しみながら健康づくりをすることを目的にスポーツをしたいと考えている傾向がうかがえます。

表3 今後やってみたい運動やスポーツ活動(種目・内容)は何ですか。

種目	H19	H29
ヨガ	11.5%	8.2%
テニス	6.0%	6.8%
ウォーキング	2.6%	5.3%
ゴルフ	4.7%	5.3%
卓球	7.3%	4.8%
バドミントン	5.1%	4.8%
水泳	12.4%	4.3%
柔軟体操・ストレッチ	0.4%	3.9%
ジョギング	0.4%	3.9%
ソフトバレー	2.6%	2.9%
体力づくり	0%	2.9%
グラウンドゴルフ	3.8%	2.9%
ソフトボール	2.6%	2.9%
ダンス	0.9%	2.4%
バレーボール	2.6%	1.9%
エアロビクス	3.0%	1.9%
筋力トレーニング・ジム	4.0%	1.9%
自転車	1.7%	1.9%
バレエ	0%	1.4%
ボルダリング	0%	1.4%
マラソン	0.9%	1.4%
野球	3.0%	1.4%
バスケットボール	1.3%	1.4%

種目	H19	H29
カヌー	0%	1.4%
登山	0.9%	1.4%
サーフィン	0%	1.4%
水中エクササイズ	0%	1.0%
スカッシュ	1.3%	1.0%
ピラティス	0%	1.0%
スタンドアップパドル	0%	1.0%
パドルボード	0%	1.0%
ロッククライミング	0%	1.0%
フットサル	0.9%	1.0%
空手	0%	1.0%
球技	0.4%	1.0%
ソフトテニス	0.4%	1.0%

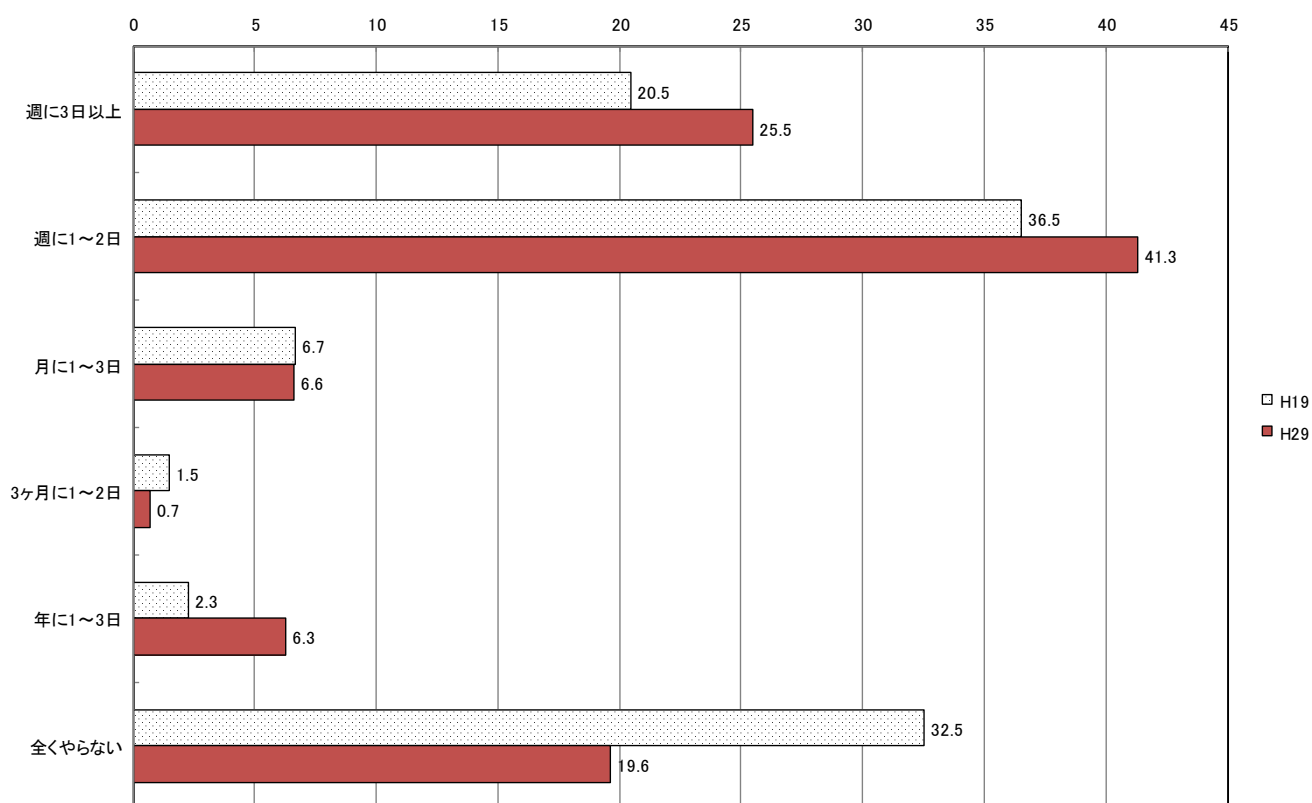


◇ 小学生のスポーツの実施状況

第1期計画の中で、子どもたちに期待する具体的目標として「自分の好きな運動やスポーツ活動を1つ以上見つけ、体育の授業以外にも、それに継続的に取り組む」と掲げているところですが、意識調査の結果から、小学生の週1回以上のスポーツ実施率は計画策定時57%、今回（H29年度）66.8%と着実に向上を見せており、スポーツクラブ等に参加するなど何らかのスポーツに取り組む児童が増えていることがうかがえるところです。

表4 あなたは運動やスポーツをどの程度行ないますか（対象：小学5・6年生）

	H19	H29
週に3日以上	20.5%	25.5%
週に1～2日	36.5%	41.3%
月に1～3日	6.7%	6.6%
3ヶ月に1～2日	1.5%	0.7%
年に1～3日	2.3%	6.3%
全くやらない	32.5%	19.6%

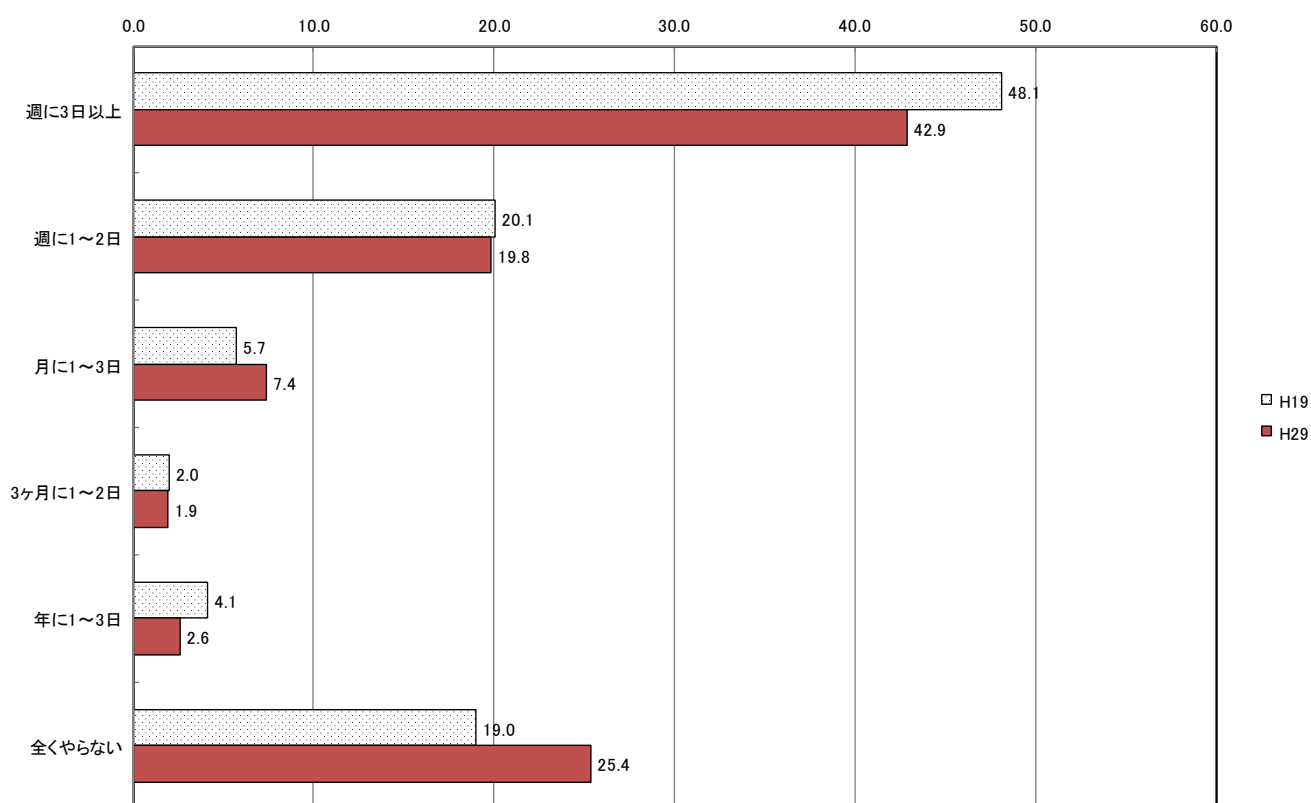


◇ 中学生のスポーツの実施状況

一方で、中学生については、週1回以上スポーツに取り組む生徒は計画策定時の68.2%から5.5ポイント減少し、62.7%となっています。6割以上の生徒が何らかのスポーツに取り組んでいることがうかがえますが、以前は小学から中学へ上がる時点で何らかのスポーツの部活動に入部しスポーツに取り組む生徒が多かったのに対して、今回の調査では初めて中学での実施率が小学での実施率を下回る結果となり、中学に入りスポーツをやめてしまう生徒が若干増加傾向にあることがうかがえます。

表5 あなたは運動やスポーツをどの程度行ないますか（対象：中学生）

	H19	H29
週に3日以上	48.1%	42.9%
週に1～2日	20.1%	19.8%
月に1～3日	5.7%	7.4%
3ヶ月に1～2日	2.0%	1.9%
年に1～3日	4.1%	2.6%
全くやらない	19.0%	25.4%



◇ 小中学生のスポーツの嗜好性

宮津市の児童生徒では「するのも見るのも好き」な層が最も多い（小学生 47.9%・中学生 39.3%）ものの、その割合は小学生で前回比 1.8 ポイント減となっています。また、中学生では 11.5 ポイント減少しています

一方、「どちらも（するのも見るのも）きれい」と答えた児童生徒の割合は低い（小学生 3.1%・中学生 2.5%）ものの、前回調査から小学生で倍増、中学生で 3.5 倍に増加しています。

表 6 あなたはスポーツや運動をしたり見たりすることが好きですか（対象：小学 5・6 年生）

	H19	H29
するのも見るのも好き	49.7%	47.9%
どちらかといえばするのが好き	26.3%	14.0%
どちらかといえば見るのが好き	7.8%	20.3%
好きでもきれいでもない	14.8%	14.7%
どちらもきれい	1.4%	3.1%

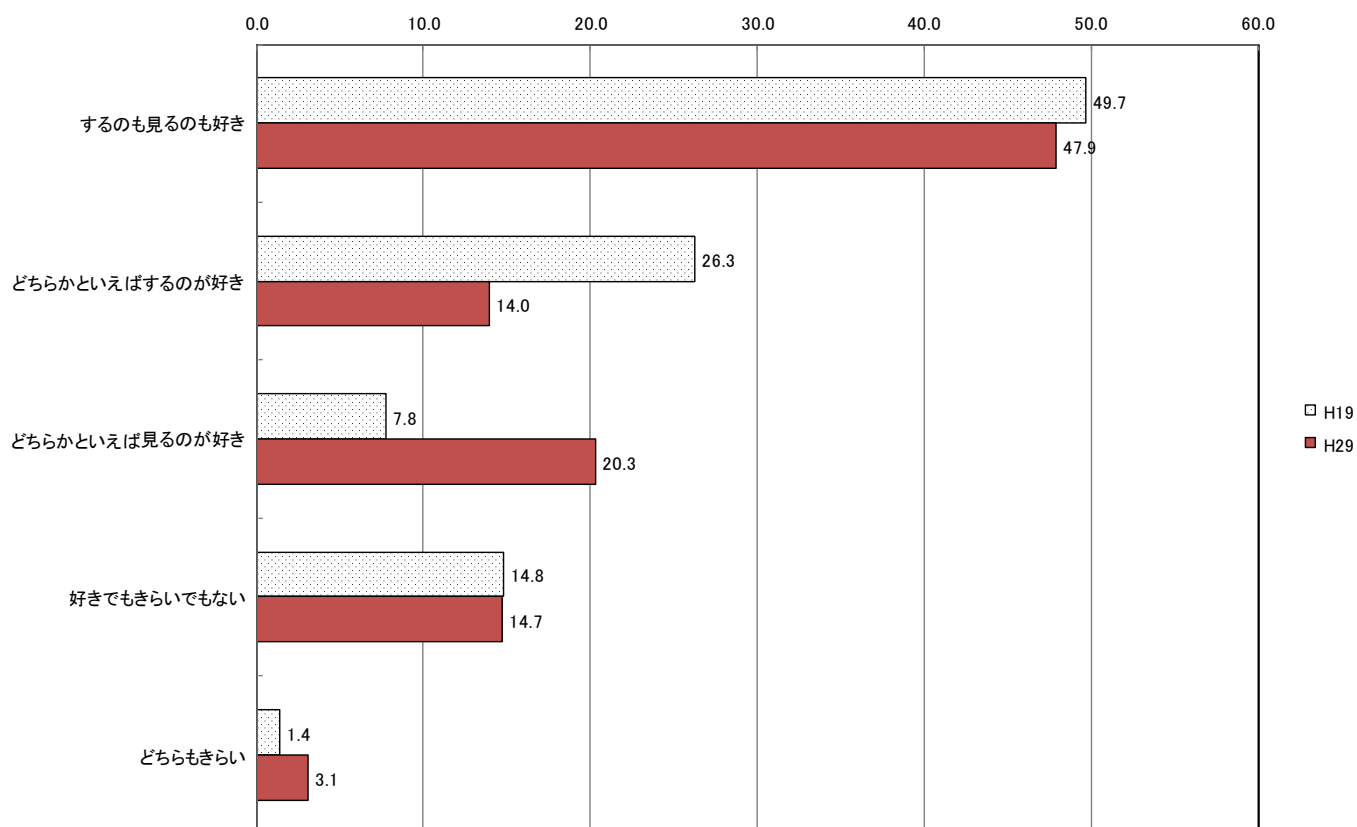
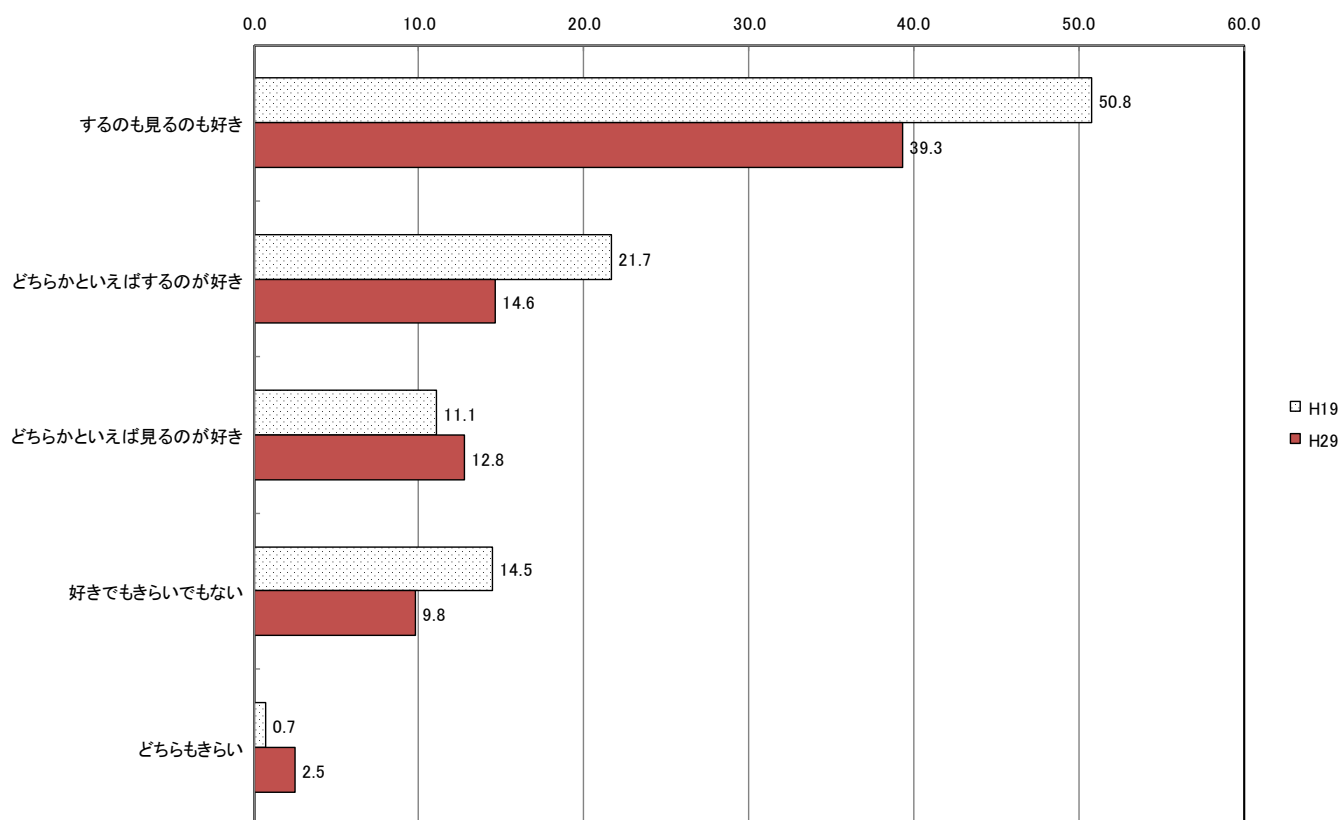


表7 あなたはスポーツや運動をしたり見たりすることが好きですか (対象：中学生)

	H19	H29
するのを見るのも好き	50.8%	39.3%
どちらかといえばするのが好き	21.7%	14.6%
どちらかといえば見るのが好き	11.1%	12.8%
好きでもきらいでもない	14.5%	9.8%
どちらもきらい	0.7%	2.5%



◇ 市民の休日の過ごし方

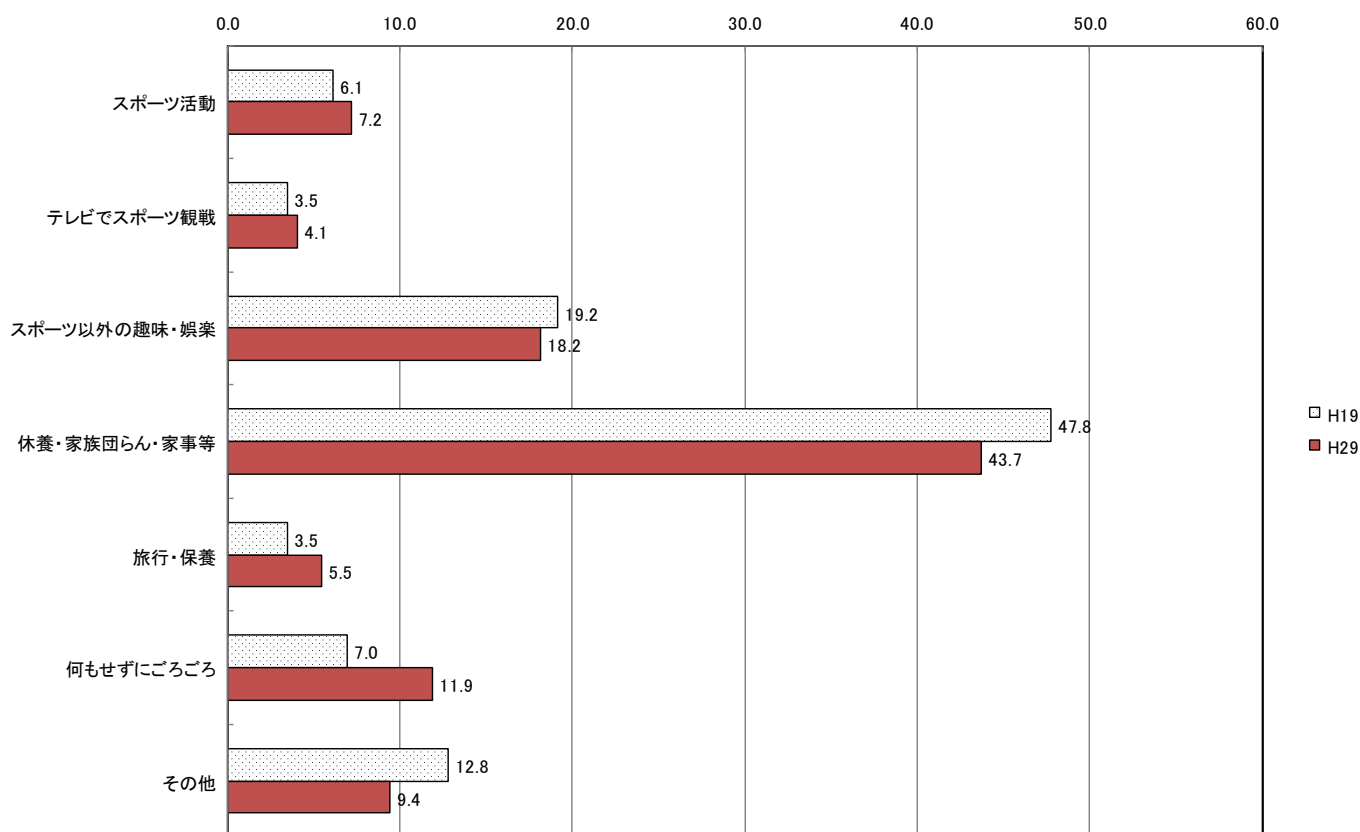
休日の過ごし方で最も多いのが、「休養・家族団らん・家事等」(43.7%)であり、「スポーツ活動」をしている人は7.2%に過ぎません。

京都府民の実態調査でも、休日における運動やスポーツとの関わりは、「ほとんどない」が59.3%で最も高く、「少ない」(11.8%)と合わせると71.2%となっています。

休日の過ごし方としてスポーツ活動をする人を増やす取り組みが必要です。

表8 あなたの「休日」の過ごし方

	H19	H29
スポーツ活動	6.1%	7.2%
テレビでスポーツ観戦	3.5%	4.1%
スポーツ以外の趣味・娯楽	19.2%	18.2%
休養・家族団らん・家事等	47.8%	43.7%
旅行・保養	3.5%	5.5%
何もせずにごろごろ	7.0%	11.9%
その他	12.8%	9.4%



*参考（平成 29 年度京都府民のスポーツに関する実態調査）

あなたは普段の休日に運動やスポーツに関わることが多いですか（表 8 関連）

多い	12.9%
たまにある	14.8%
少ない	11.8%
ほとんどない	59.3%
不明・無回答	1.1%

◇ 市民はどのような条件が満たされれば運動やスポーツをするのか

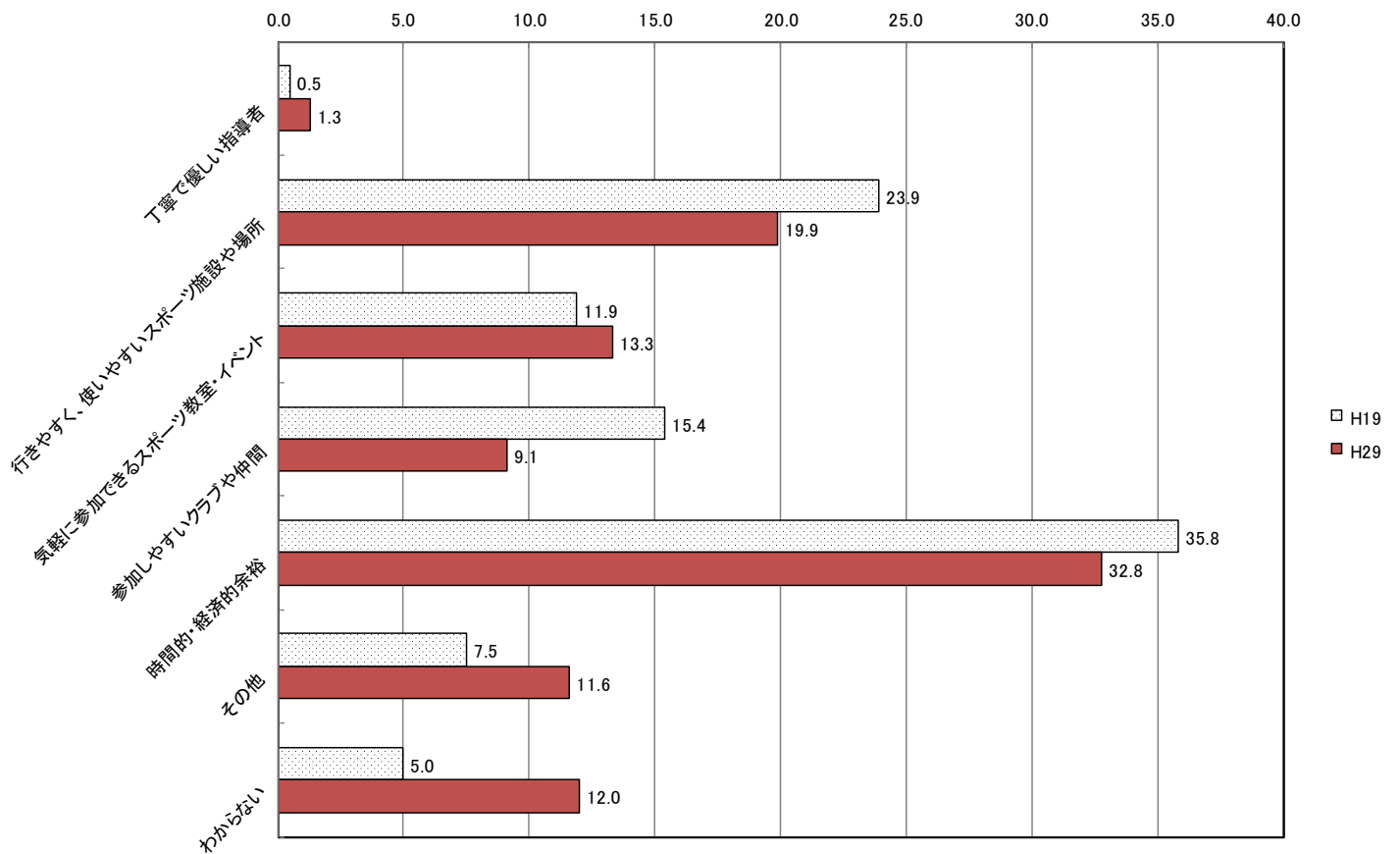
「時間的・経済的余裕」があれば運動やスポーツをすると回答した人が最も多く（32.8%）、次に、「行きやすく、使いやすいスポーツ施設や場所」（19.9%）、「気軽に参加できるスポーツ教室・イベント」と続いています。特に「気軽に参加できるスポーツ教室・イベント」については前計画策定時調査に比べ、その割合が増えている傾向にあります。

京都府民の実態調査においては、「運動やスポーツをしなかった理由」として、「年をとったから」が28.3%で最も多く、以下、「仕事（家事・育児・介護などを含む）が忙しくて時間がないから」が27.6%、「機会がない」が24.3%、「面倒だから」が19.1%と続いています。

運動・スポーツを気軽に利用できる施設・場所・教室・イベント等があればしたいと思いつつも、仕事（家事・育児・介護などを含む）で忙しくなかなかスポーツ等をする余裕が無い実態がうかがえます。

表9 どのような条件が満たされれば、運動やスポーツをするか

	H19	H29
丁寧で優しい指導者	0.5%	1.3%
行きやすく、使いやすいスポーツ施設や場所	23.9%	19.9%
気軽に参加できるスポーツ教室・イベント	11.9%	13.3%
参加しやすいクラブや仲間	15.4%	9.1%
時間的・経済的余裕	35.8%	32.8%
その他	7.5%	11.6%
わからない	5.0%	12.0%



*参考（平成 29 年度京都府民のスポーツに関する実態調査）

この 1 年間に、運動やスポーツをしなかったのはどのような理由からですか

（表 9 関連）

仕事（家事・育児・介護を含む）が忙しくて時間がないから	27.6%
体が弱いから	9.9%
年をとったから	28.3%
場所や施設がないから	2.0%
仲間がいないから	8.6%
指導者がいないから	1.3%
費用がかかるから	5.3%
面倒だから	19.1%
運動やスポーツをする場所まで行くのが大変だから	3.9%
手伝ってくれる人（介助者やスポーツボランティアなど）がいないから	1.3%
運動・スポーツは好きではないから	12.5%

機会がない	24.3%
その他	8.6%
特に理由はない	15.1%
不明・無回答	0.7%

(複数回答)

◇ 市民の健康意識

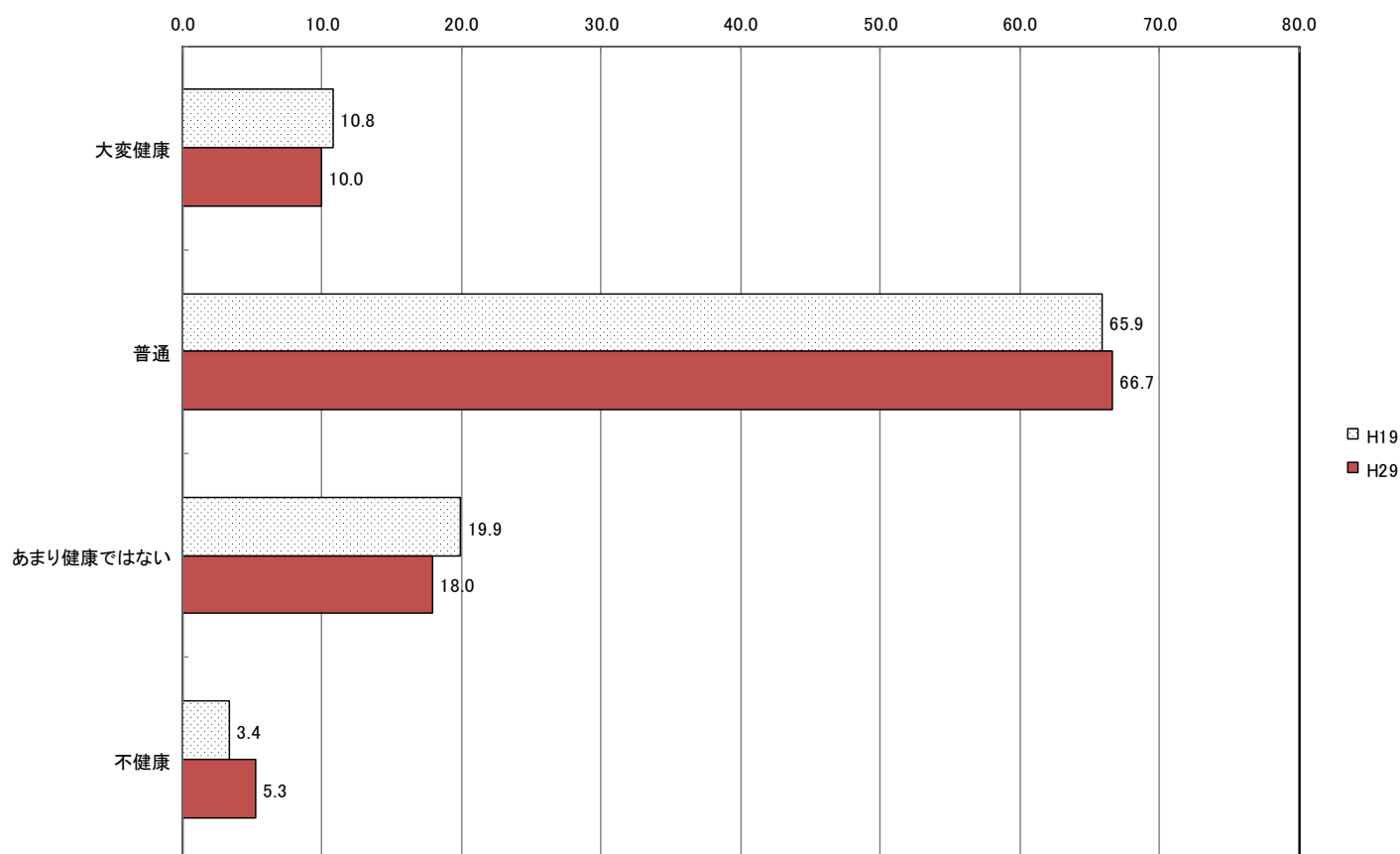
自身の健康状態については「普通」と答えた人が最も多く（66.7%）、前計画策定時から0.8ポイント増加しています。

また、「大変健康」と答えた人は前計画策定時から0.8ポイント減少し、「不健康」と答えた人は1.9ポイント増加しています。

京都府民の実態調査では、「健康や体力の保持増進のために心がけていること」としては、「食生活に気をつける」が58.5%で最も多く、以下、「睡眠や休養をよくとる」が46.0%、「定期的に健康診断を受診する」が36.7%と続いており、「運動やスポーツをする」と回答した人は28.8%でした。一方、「心がけていることはない」と回答した人は、6.5%となっています。

表10 あなたは現在の自身の健康についてどのように考えているか

	H19	H29
大変健康	10.8%	10.0%
普通	65.9%	66.7%
あまり健康ではない	19.9%	18.0%
不健康	3.4%	5.3%



*参考（平成 29 年度京都府民のスポーツに関する実態調査）

あなたは日頃健康や体力の保持増進のために、何か心がけていることはありますか。あるとすればどのようなことですか。（表 10 関連）

食生活に気をつける	58.5%
睡眠や休養をよくとる	46.0%
運動やスポーツ（職場での体操や散歩を含む）をする	28.8%
日常生活でできるだけ身体活動の機会を増やす（車を利用せずに歩く等）	34.7%
規則正しい生活をする	33.7%
酒を控える	12.5%
たばこを控える	10.6%
定期的に健康診断を受診する	36.7%
その他	1.7%
心がけていることはない	6.5%
不明・無回答	0.7%

（複数回答）

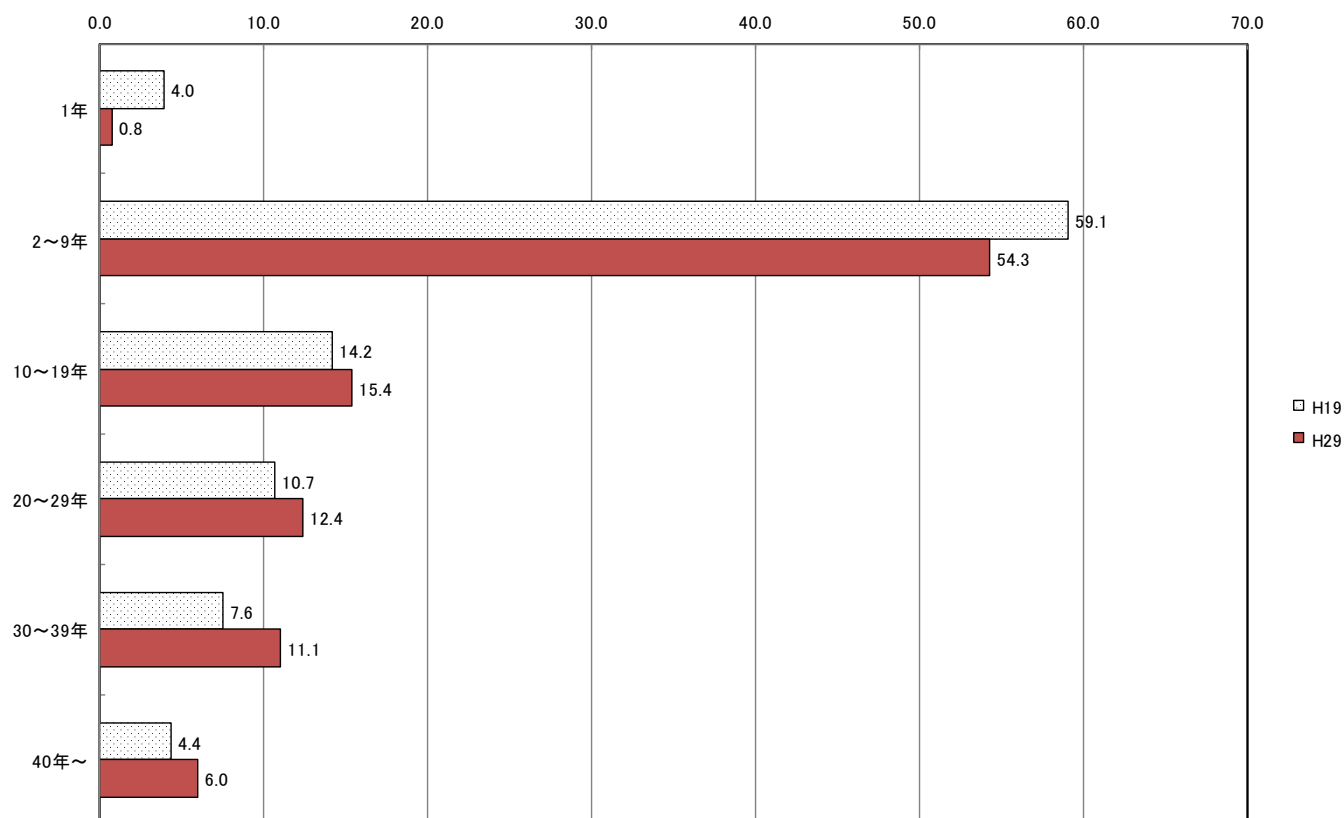
◇ 市民はどの程度スポーツを継続しているのか

特定のスポーツを何年継続して行っているかという質問では、「2～9年」が過半数(54.3%)を占め、以下、「10～19年」(15.4%)、「20～29年」(12.4%)と続いています。

一方「1年未満」は0.8%と最も少なく、かつ、その割合は減少傾向にあります。このことから、スポーツをしている人は比較的長く続けているが、スポーツを始めようという人は減少傾向にあることがわかります。スポーツをする人とならない人の二極化とともにスポーツをする人の裾野が広がっていない傾向がうかがえます。

表 11 あなたは特定のスポーツを継続的行っていますか。

	H19	H29
1年	4.0%	0.8%
2～9年	59.1%	54.3%
10～19年	14.2%	15.4%
20～29年	10.7%	12.4%
30～39年	7.6%	11.1%
40年～	4.4%	6.0%



◇ 市民がスポーツをする目的

市民がスポーツをする目的としては、前計画策定時と同様「勝敗や記録を競う」答えた人がスポーツをしている方の半数近く（47.8%）を占めました。

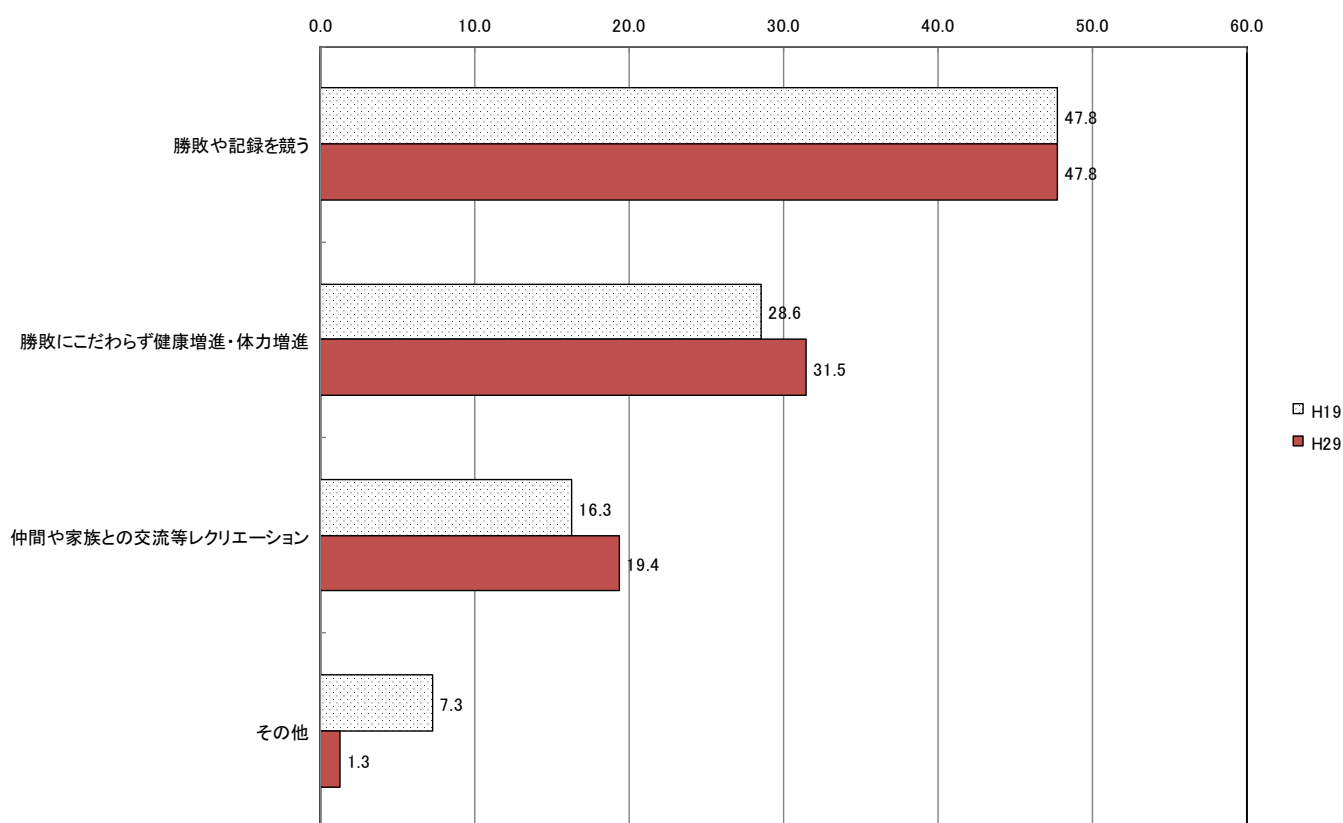
一方で、「勝敗にこだわらず健康増進・体力向上」と答えた人も前計画策定時から2.9ポイント増加しています。

京都府民の実態調査では、「健康・体力づくりのため」が58.4%で最も多くなっています。

運動・スポーツをしていない人が気軽に「健康・体力づくり」ができる環境づくりが必要と考えられます。

表 12 スポーツ活動は主にどのような目的で行っていますか

	H19	H29
勝敗や記録を競う	47.8%	47.8%
勝敗にこだわらず健康増進・体力向上	28.6%	31.5%
仲間や家族との交流等レクリエーション	16.3%	19.4%
その他	7.3%	1.3%



*参考（平成 29 年度京都府民のスポーツに関する実態調査）

あなたがその運動やスポーツをしたのはどのような理由からですか。(表 12 関連)

健康・体力づくりのため	58.4%
楽しみ、気晴らしとして	39.5%
運動不足を感じるから	46.1%
精神の修養や訓練のため	3.1%
自己の記録や能力を向上させるため	3.5%
家族のふれあいとして	8.9%
友人・仲間との交流として	27.4%
美容や肥満解消のため	15.0%
その他	5.4%
特に理由はない	1.4%
不明・無回答	4.9%

(複数回答)

◇ 市民が望む体育・スポーツ、レクリエーションの指導者像

市民が望む体育・スポーツ、レクリエーションの指導者像としては、「地域に根ざしたスポーツを推進できる指導者」を望む声が一番多い（43.1%）です。

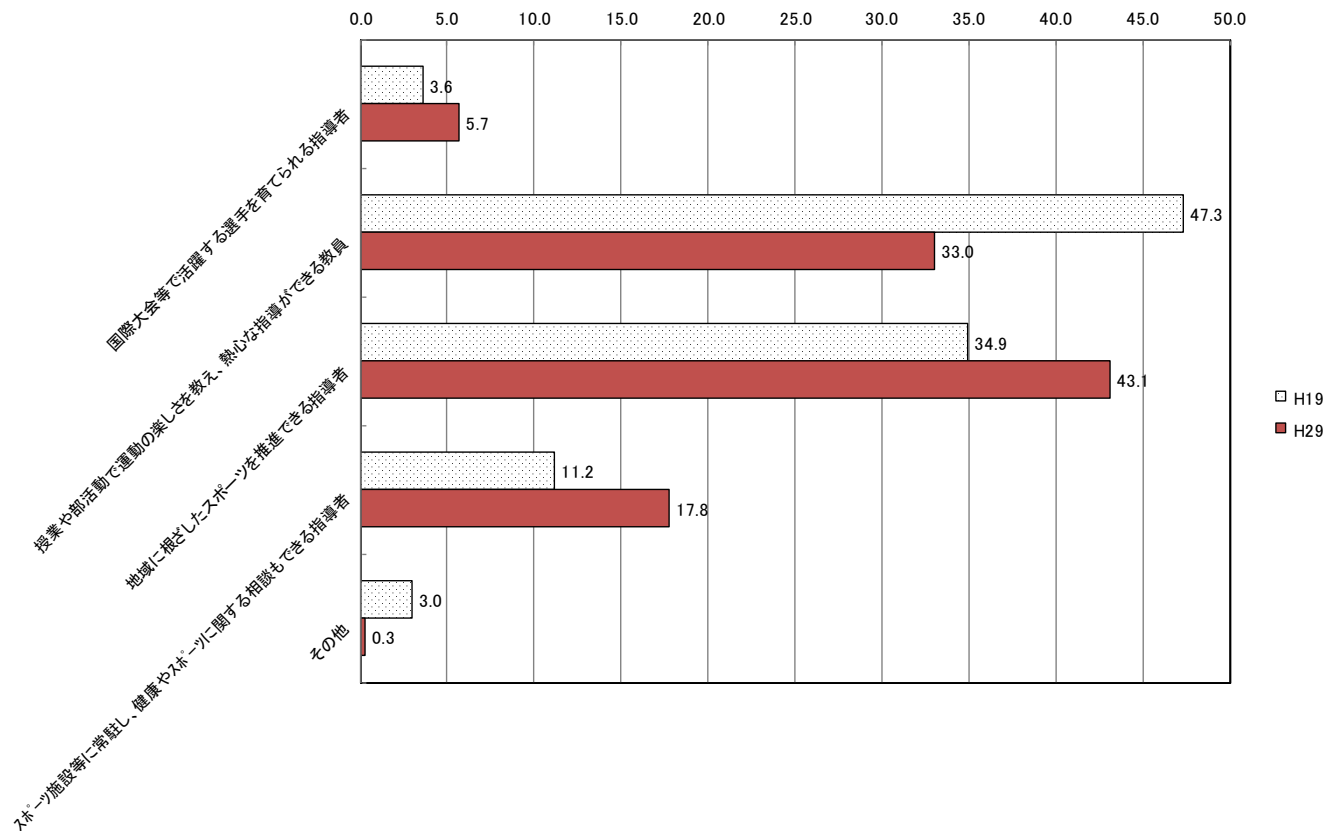
続いて「授業や部活動で運動の楽しさを教え、熱心な指導ができる教員」（33.0%）と続くものの、体育・スポーツ、レクリエーションの指導者像として、授業や部活動で運動の楽しさを教え、熱心な指導ができる教員を求める割合は減少しています。前計画策定時調査では最も望む指導者像としては「授業や部活動で運動の楽しさを教え、熱心な指導ができる教員」が最も多く、学校の教員に求める人が多かったですが、今回調査では「地域に根ざしたスポーツを推進できる指導者」を望むとの回答が最多となりました。体育・スポーツ、レクリエーションの指導者として、学校教員に限定することなく、広く地域に人材を求めている傾向が強まっていることがうかがえます。

京都府民の実態調査でも、最も求められている指導者として「スポーツの楽しみ方やスポーツへの興味・関心がわくような指導ができる人」が最も多くなっています（59.2%）。

以上のことから、地域でスポーツの楽しみ方やスポーツへの興味・関心がわく指導ができる指導者の育成をすることが求められていることがうかがえます。

表 13 体育・スポーツ、レクリエーション等を推進していくために、どのような指導者が必要だと思いますか。

	H19	H29
国際大会等で活躍する選手を育てられる指導者	3.6%	5.7%
授業や部活動で運動の楽しさを教え、熱心な指導ができる教員	47.3%	33.0%
地域に根ざしたスポーツを推進できる指導者	34.9%	43.1%
スポーツ施設等に常駐し、健康やスポーツに関する相談もできる指導者	11.2%	17.8%
その他	3.0%	0.3%



*参考（平成 29 年度京都府民のスポーツに関する実態調査）

あなたは、今後、運動やスポーツ活動をより推進させていくためには、どのようなスポーツ指導者が必要だと思いますか。（表 13 関連）

スポーツの楽しみ方やスポーツへの興味・関心がわくような指導ができる人	59.2%
健康・体力づくりのための運動やスポーツの指導ができる人	44.9%
障害者や高齢者のスポーツの指導ができる人	27.7%
青少年のスポーツ活動を積極的に進めることができる人	18.0%
競技力向上のための高度な技術の指導ができる人	11.4%
スポーツイベント（大会や教室など）の企画や運営ができる人	18.4%
年間を通して定期的に指導ができる人	20.8%
いろいろなニュースポーツ（ゲートボール、グラウンドゴルフ、インディアカなど）の指導ができる人	7.4%
指導に関する資格を持っている人	15.2%
その他	1.9%
わからない	15.6%
不明・無回答	2.9%

（複数回答）

市民の障害者スポーツに対する意識

職場や地域で障害者スポーツが普及しているかについては、「全く思わない」と「あまり思わない」を合わせて 76.9%の市民が「普及していない」と回答しています。

そして普及を進めるためには、「行きやすく、使いやすいスポーツ施設や場所」「気軽に参加できるスポーツ教室やイベント」が必要と回答した人がそれぞれ約 3 割で最も多くなっています。

京都府民の実態調査において、「障害者スポーツの推進でもたらされる効果」として、「障害者と健常者との交流のきっかけ」が 50.7%で最も多く、以下、「障害者の体力づくりや心身の健全育成」が 39.2%、「地域のスポーツ活動に障がい者が気軽に参加できる地域づくり」が 36.8%と続いています。

また、同じく京都府民の実態調査において、「障害者が日常生活の中で、気軽に運動やスポーツができるようにするための手立て」については、「障害者に配慮したスポーツ施設・設備の整備（トイレや施設入口のバリアフリー化など）が 54.0%で最も多く、以下、「障害者スポーツの拠点となるスポーツ施設の整備・拡充」が 43.0%「障害者をサポートするスポーツボランティアの育成」が 32.5%、「スポーツ施設までの道路、公共交通機関などアクセス面の整備」が 32.2%と続いています。

表 14 あなたの職場、もしくは住んでいる地域で障害者スポーツは普及していると思いますか。

	H19	H29
強く思う	—	0.3%
少し思う	—	4.4%
どちらともいえない	—	18.4%
あまり思わない	—	37.5%
全く思わない	—	39.4%

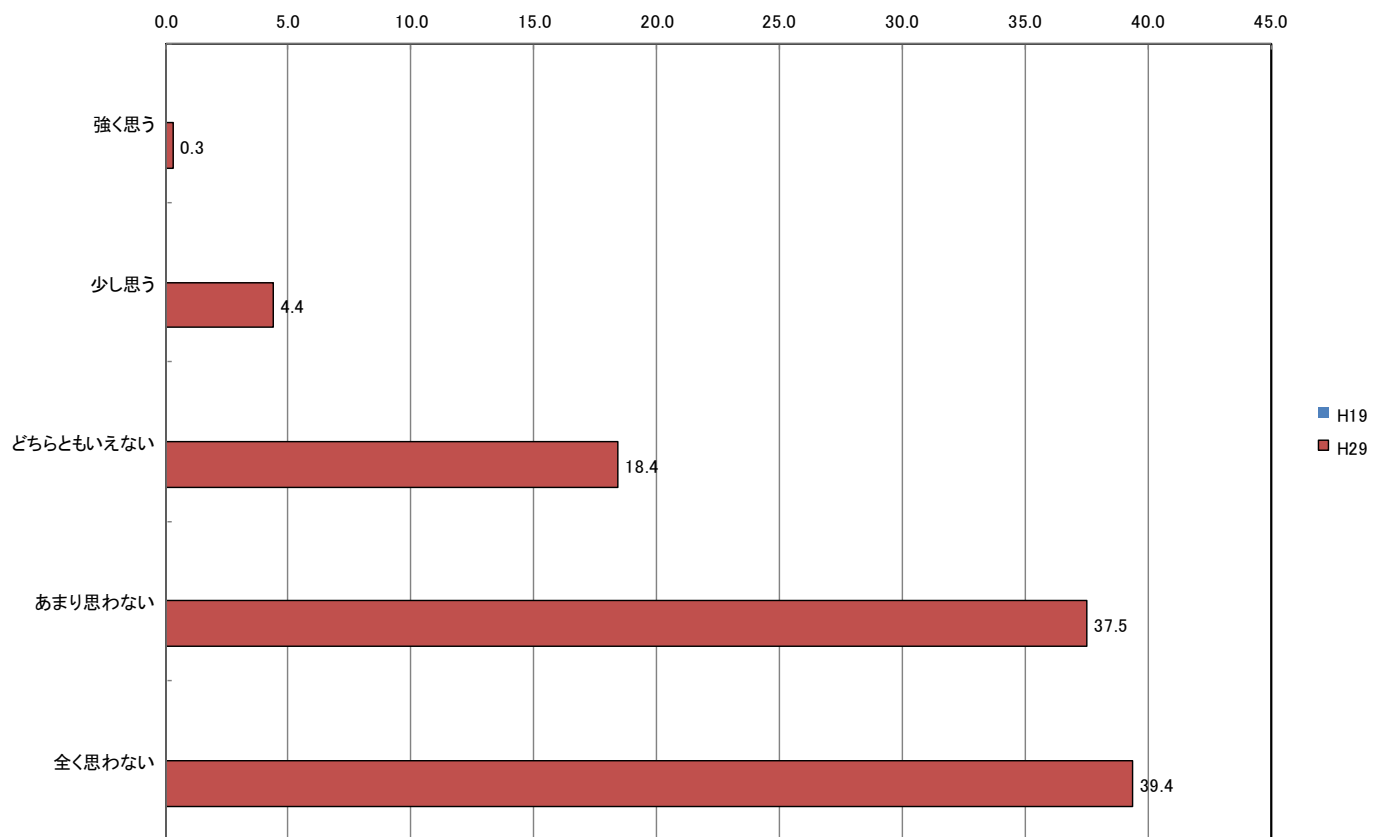
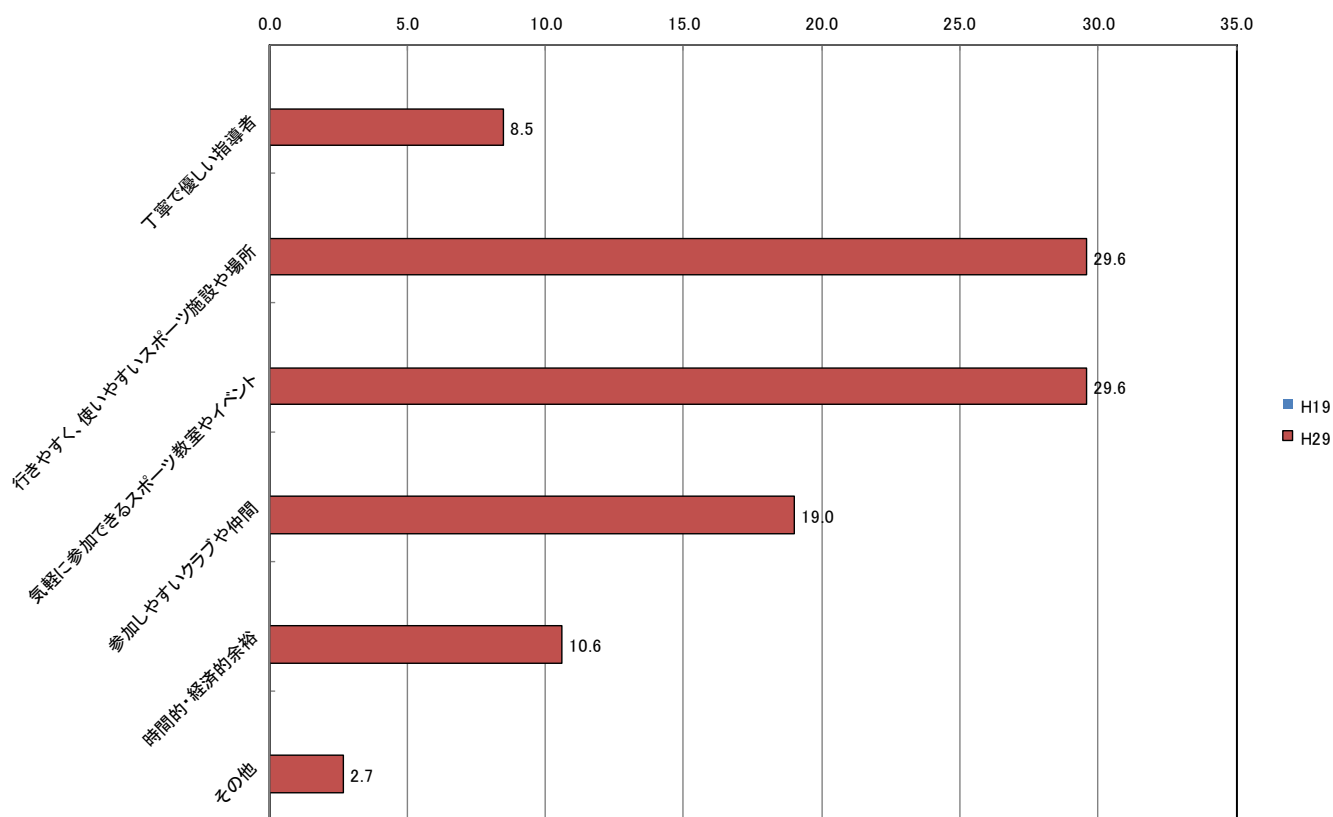


表 15 あなたの働くもしくは住んでいる地域で今後障害者スポーツが普及するために必要な条件についてどのように考えますか。

	H19	H29
丁寧で優しい指導者	—	8.5%
行きやすく、使いやすいスポーツ施設や場所	—	29.6%
気軽に参加できるスポーツ教室やイベント	—	29.6%
参加しやすいクラブや仲間	—	19.0%
時間的・経済的余裕	—	10.6%
その他	—	2.7%



*参考（平成 29 年度京都府民のスポーツに関する実態調査）

障害者スポーツを積極的に推進することでもたらされる効果は何であると思いますか。（表 14・15 関連）

障害者と健常者との交流のきっかけ	50.7%
地域のスポーツ活動に障害者が気軽に参加できる地域づくり	36.8%
人（する人、みる人、ささえる人）の連携・協働の促進	30.5%
障害者の余暇時間の有効活用	13.9%
障害者の体力づくりや心身の健全育成	39.2%
障害者に配慮したスポーツ施設の整備などバリアフリー化の促進	29.8%
障害者スポーツの競技力向上に向けた育成プログラムや障害者用スポーツ用具等の開発の促進	13.5%
その他	0.2%
特に効果は無い	1.2%
わからない	13.9%
不明・無回答	3.8%

（複数回答）

*参考（平成 29 年度京都府民のスポーツに関する実態調査）

障害者が、日常生活の中で、気軽に運動やスポーツができるようにするためには、どのような手立てが必要だと思いますか。（表 14・15 関連）

障害者スポーツの拠点となるスポーツ施設の整備・充実	43.0%
障害者に配慮したスポーツ施設・設備の整備（トイレや施設入口のバリアフリー化など）	54.0%
スポーツ施設までの道路、公共交通機関などアクセス面の整備	32.2%
障害者スポーツ指導者の養成	27.8%
障害者をサポートするスポーツボランティアの育成	32.5%
障害の程度に応じた運動やスポーツのプログラムの開発	17.8%
障害者スポーツの理解促進に向けた公的教育やイベントの充実	13.6%
障害者スポーツ大会の充実を図るなどスポーツ機会の提供	12.5%
きっかけづくりや仲間づくりのための障害者スポーツ教室の開催	24.0%

特別支援学校や総合型地域スポーツクラブ等との連携による日常的に運動が行える機会の充実	16.7%
障害者が参画できる（参画しやすい）日常の地域活動の実施	22.7%
その他	0.5%
わからない	14.1%
不明・無回答	3.4%

(複数回答)

2 宮津市のスポーツ施設と施策

(1) スポーツ施設

① 市内の公共スポーツ施設の利用状況

施設名	H27 年度		H28 年度		H29 年度	
	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数
宮津運動公園（市民球場）	101	9,465	76	6,865	89	7,285
宮津運動公園（市民グラウンド）	111	10,195	135	11,600	146	12,015
宮津運動公園（テニスコート）	414	4,924	394	4,388	428	4,250
宮津市民体育館（アリーナ）	1,326	38,559	1,308	42,879	1,216	36,433
宮津市民体育館（剣道場）	578	11,062	653	13,193	604	12,025
宮津市民体育館（柔道場）	412	5,505	354	5,510	307	4,385
宮津市民体育館 （多目的練習場）	578	8,201	586	8,183	609	8,695
宮津市民体育館 （トレーニング室）	3,915	4,204	3,710	4,000	3,807	4,416
京都府立青少年海洋セ ンターマリーンピア （体育館）	216	16,939	191	14,341	141	12,488
田井宮津ヨットハーバー	—	8,003	—	6,896	—	6,533
島崎公園（グラウンド）	356	—	378	—	339	—
島崎公園（テニスコート）	100	430	105	450	110	460
滝上公園（弓道場）	321	2,286	347	2,479	323	2,308
西宮津公園（ゲートボール場）	288	3,744	280	3,210	277	3,000
西宮津公園（プール）	35	1,190	36	1,398	34	1,422
府中公園（グラウンド）	336	4,738	365	4,960	290	4,559
府中公園（テニスコート）	44	186	13	29	5	13
府中公園（ゲートボール場）	8	81	7	7	63	198
由良地区社会教育活用施設 （体育館）	244	—	289	—	2	—
由良地区社会教育活用施設 （グラウンド）	271	—	283	—	3	—
日ヶ谷地区社会教育活用施設 （体育館）	3	—	5	—	580	—
日ヶ谷地区社会教育活用施設 （グラウンド）	2	—	2	—	113	—
上宮津地区社会教育活用施設 （体育館）	501	—	459	—	2	—
上宮津地区社会教育活用施設 （グラウンド）	70	—	83	—	3	—

② 学校開放の利用状況

	H27 年度		H28 年度		H29 年度	
	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数
小学校	1,405	—	1,424	—	1,412	—
中学校	493	—	541	—	396	—

宮津市民体育館では、多くの競技大会や練習が行われ、競技性の高いイベントだけでなく、ピラティス・ダンベル体操・卓球などのスポーツ教室も行われています。また、施設設備・備品の改修・更新を適宜行っていくことで施設利用者の便益の向上を図っています。

利用頻度の少ない施設については、利活用の推進が求められるところです。

小中学校のグラウンド・体育館を学校教育に支障の無い範囲で、地域住民のスポーツ利用などに開放しています。

◇ 公共スポーツ施設のサービス

意識調査からは、「今後のスポーツ活動を行う際、どのような充実を望むか」については、「体力トレーニング施設」と答えた人が最も多く3人に1人(32.9%)が「体力トレーニング施設の充実」を望んでいることがうかがえます。これは、前計画策定時から通じて見られる傾向で、かつ、そのニーズは高まっています(H19:22.3%、H29:32.9%)。具体的には、市民体育館のトレーニング室の充実あるいはフィットネス等ができるスポーツ施設環境の整備が望まれていることがうかがえます。

また、「市内の公共スポーツ施設のサービスについて望むこと」については、前計画策定時に引き続いて、「スポーツ教室や行事の充実」が求められています。

京都府民の調査においては、「公共スポーツ施設に不足していると思う施設」として、「ジョギング・ウォーキングができる道路・公園」(21.4%)に次いで、「体力トレーニング施設」(21.1%)が求められており、「公共スポーツ施設に望むこと」としては、「身近で利用できるよう、施設数の増加」(40.6%)、「利用料金が安くなること」(40.1%)が多く求められています。

表 16 あなたが今後スポーツ活動を行う際、どのような充実を望みますか（対象：一般市民）

	H19	H29
総合的な運動公園	13.8%	17.7%
野球場・ソフトボール場	4.6%	5.0%
球技場（サッカー場・テニスコート等）	6.1%	3.6%
運動広場（多目的施設）	4.3%	3.4%
体育館	20.8%	11.0%
体カトレーニング施設	22.3%	32.9%
武道場	1.2%	1.1%
野外活動施設	19.6%	16.0%
その他	7.3%	9.3%

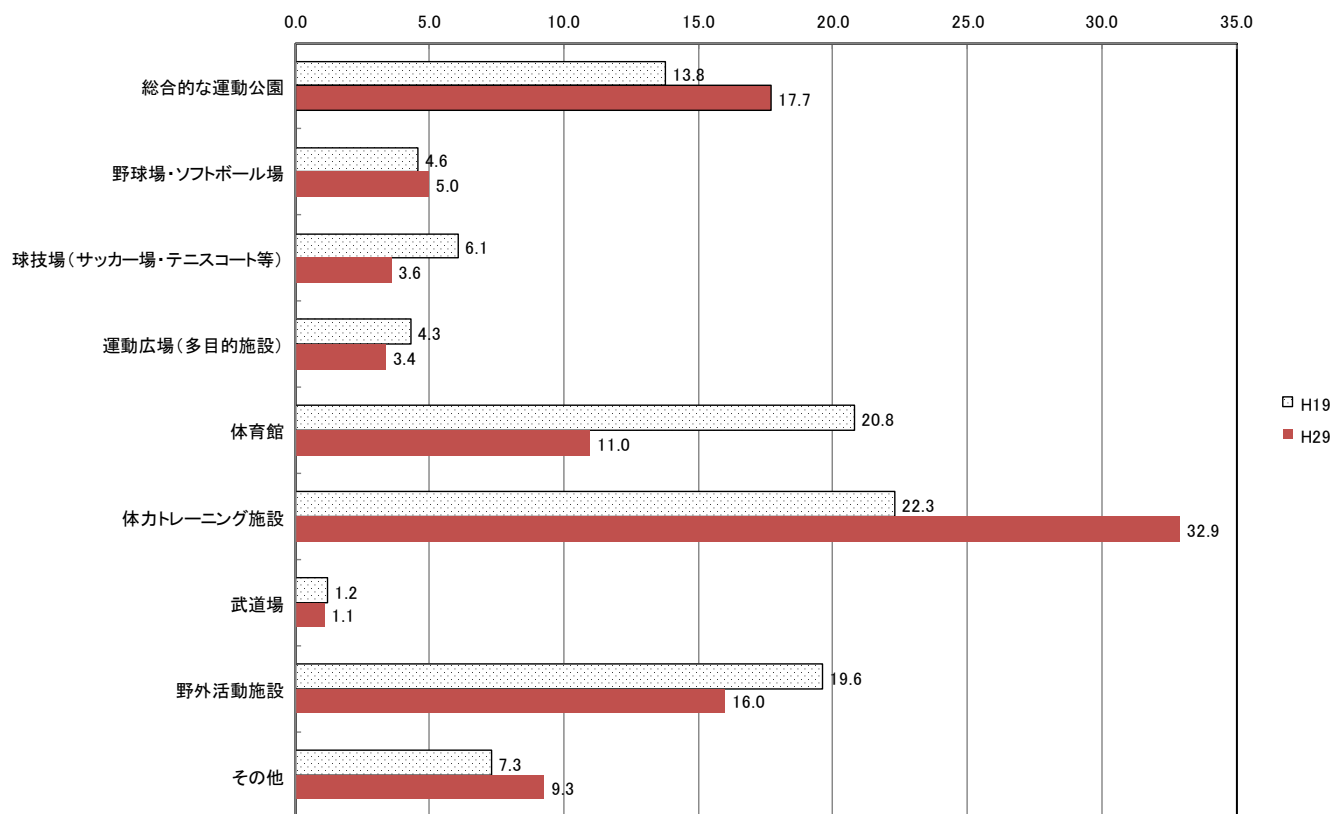
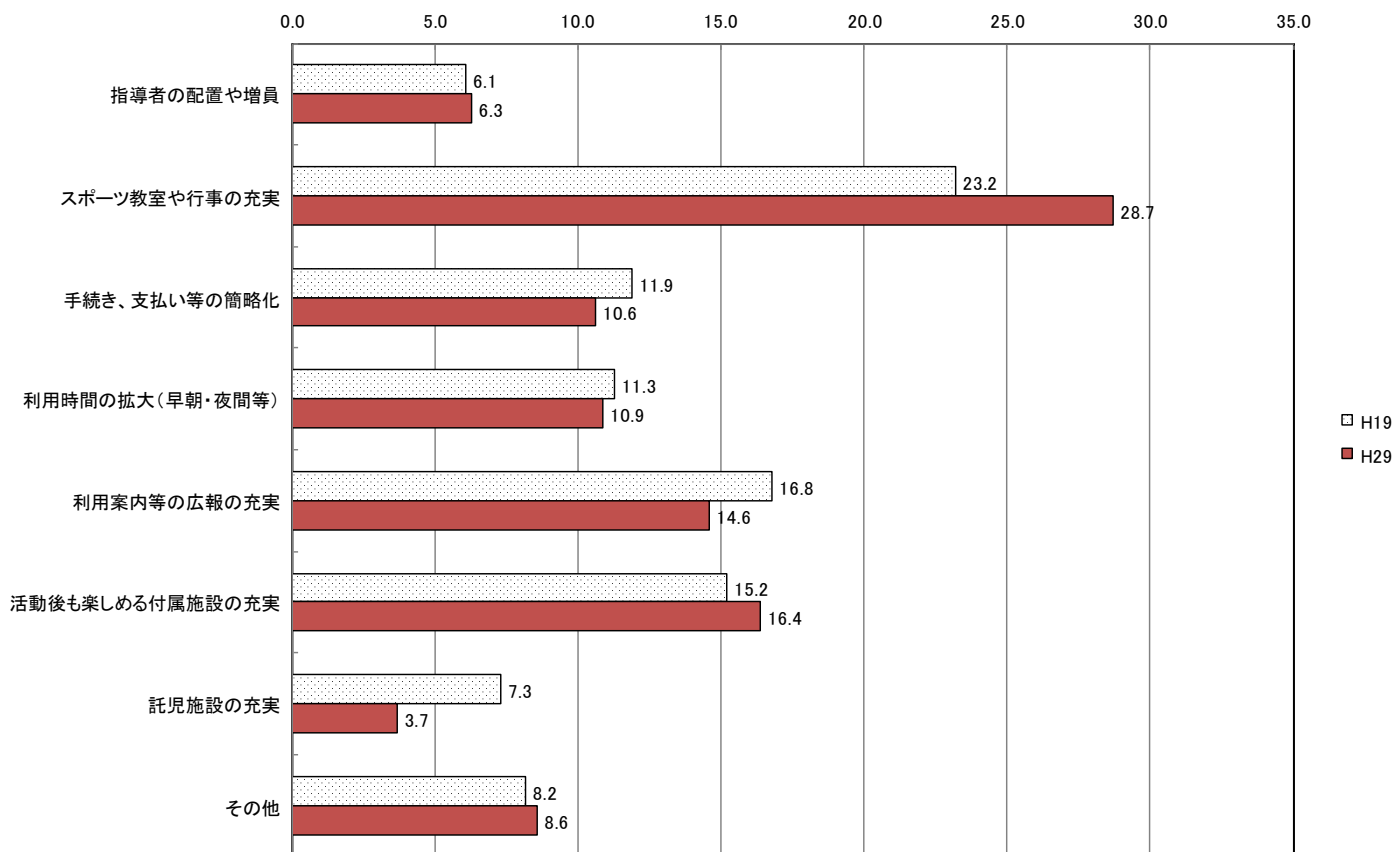


表 17 市内の公共スポーツ施設のサービスについて、どのようなことを望みますか

(対象：一般市民)

	H19	H29
指導者の配置や増員	6.1%	6.3%
スポーツ教室や行事の充実	23.2%	28.7%
手続き、支払い等の簡略化	11.9%	10.6%
利用時間の拡大（早朝・夜間等）	11.3%	10.9%
利用案内等の広報の充実	16.8%	14.6%
活動後も楽しめる付属施設の充実	15.2%	16.4%
託児施設の充実	7.3%	3.7%
その他	8.2%	8.6%



*参考（平成 29 年度京都府民のスポーツに関する実態調査）

あなたは、公共スポーツ施設について、不足していると思われる施設は何ですか。

（表 16 関連）

総合的な運動公園	19.5%
野球場・ソフトボール場	4.6%
サッカー場・ラグビー場	4.5%
テニスコート	5.4%
運動広場（ゲートボール、グラウンドゴルフ等で多目的に使用できる施設）	8.7%
プール（屋内・外）	18.3%
体育館	9.5%
体力トレーニング施設	21.1%
武道場	2.5%
ジョギング・ウォーキングができる道路・公園	21.4%
サイクリングができる道路・公園	14.1%
キャンプ・アスレチック・ハイキングができる野外活動施設	12.2%
その他	2.0%
特になし	13.5%
わからない	20.3%
不明・無回答	3.7%

（複数回答）

*参考（平成 29 年度京都府民のスポーツに関する実態調査）

あなたは、市町村立体育館、プール、テニスコートなどの公共スポーツ施設について、何か望むことはありますか。（表 17 関連）

身近で利用できるよう、施設数の増加	40.6%
指導者の配置や資質の向上	11.0%
プログラム内容（スポーツ教室やスポーツイベント等を含む）の充実	16.7%
利用料金が安くなること	40.1%
利用手続き、料金の支払い方法などの簡略化	28.9%
利用時間帯の拡大（早朝、夜間など）	19.8%

利用案内など広報の充実	18.7%
アフタースポーツのための施設（レストラン、シャワールームなど）の充実	18.7%
高齢者や障害者に配慮した施設・設備の整備（トイレや施設入口のバリアフリー化など）	18.1%
冷暖房の完備	18.2%
手軽に利用できる駐車場の完備	26.7%
託児施設の充実	5.5%
健康やスポーツに関する情報や専門指導の充実	9.9%
その他	2.7%
特にない	12.9%
わからない	8.6%
不明・無回答	4.2%

(複数回答)

(2) スポーツ施策

① スポーツ関連施策

宮津市では、これまで「宮津市スポーツ振興計画」に基づき、生涯スポーツ社会の実現に向けて取り組みを行なってきました。

これらの施策の充実を図るとともに、観光施策との積極的な融合を図るなど、スポーツによるまちづくりも重要な視点となります。

■ スポーツ関連事業の実施状況

内容	29 年度実績
宮津市小学生陸上競技記録会	対象：小学 5・6 年 58 人参加
宮津市長杯争奪与謝地方中学校野球大会	7 チーム 107 人
宮津市小学生陸上競技大会	対象：小学 5・6 年 59 人参加
市民グラウンドゴルフ交流会	134 名（15 チーム、個人 45 人）参加
市民駅伝競走大会	21 チーム 119 人参加
市民卓球大会	20 チーム 74 人参加
みやづユニカール大会	46 人参加
“京都府知事杯” 第 27 回ビーチバレー京都（天橋立フェスティバル） ※	152 人参加
丹後ベテラン卓球大会 ※	220 人参加
天橋立ローラースキー大会 ※	181 人参加
宮津市長杯少年少女レスリング大会 ※	20 チーム 213 人参加
丹後大学駅伝（関西学生対校駅伝競走大会） ※	22 校・353 人参加
四都市春季大会・冬季大会	春季・冬季各大会とも総合 4 位
京都府民総合体育大会	19 競技・207 人
巡回ニュースポーツ教室	延べ 148 人参加
少年少女ヨット体験教室	延べ 12 組 14 人参加
少年少女スキー教室	33 人参加

※はスポーツ観光関連事業に再掲

② スポーツ観光施策

宮津市では、他府県からも参加が期待されるスポーツ観光イベントの開催、誘致等を積極的に行うことにより、観光交流人口の増加を図り、スポーツ交流によるまちづくりの推進を図るため、次のスポーツ観光イベント等に取り組んでいます。

■ スポーツ観光関連事業の実施状況

内 容	29年度実績
海の京都 TANTAN ロングライド	参加人数：1,705 人 *H28：1,667 人・H27：1,651 人
天橋立ツーデーウォーク	参加人数：延 1,693 人 *H28：延 1,781 人
丹後大学駅伝（関西学生対校駅伝競走大会）	22 校・353 人参加
“京都府知事杯”第 27 回ビーチバレー京都（天橋立フェスティバル）	152 人参加
天橋立ローラースキー大会	181 人参加
丹後ベテラン卓球大会	220 人参加
宮津市長杯少年少女レスリング大会	20 チーム 213 人参加（他府県からも参加）

* スポーツ観光イベントとは…スポーツを通じて観光交流人口及び観光消費額の増加に資するイベント

3 宮津市のスポーツ団体の状況

(1) スポーツ団体の状況

① 宮津市体育協会加盟団体

宮津市体育協会は、各競技大会の開催及び選手派遣、スポーツ振興のための各種研修会・講習会の開催、加盟団体との相互の連絡調整等を目的とした組織で、21団体（うち1団体休部）で構成されています。（平成30年7月現在）

■ 宮津市体育協会加盟団体

宮津与謝野球連盟・宮津市ソフトボール協会・宮津ソフトテニス連盟・宮津バスケットボール協会・宮津卓球協会・宮津市陸上競技協会・宮津市剣道連盟・宮津与謝柔道連盟・宮津市弓道協会・宮津市バレーボール連盟・宮津市ヨット協会・宮津市スキー協会・宮津空手道連盟・宮津バドミントン協会・宮津テニス協会・宮津市ゲートボール協会・宮津市ボウリング協会・宮津グラウンドゴルフ協会・宮津ゴルフ協会・宮津市ターゲットバードゴルフ協会

■ 宮津市スポーツ少年団

スポーツ少年団の育成指導を図り、少年にスポーツ及び文化活動を振興し、もって少年の心身の健全な育成に資することを目的に設置されており、現在3団体（宮津サッカー・宮津ホークス（少年野球）・宮津マーチングバンド）で構成されています。

② 総合型地域スポーツクラブ

前計画で、市民みんなで目指す具体的目標として、「総合型スポーツクラブを育成する。」と掲げ、平成24年2月に総合型スポーツクラブとして、「総合型クラブ 天の架け橋～rainbow～」が設置され、平成29年8月にはNPO法人化されました。

会員数は、121人（大人：86人 子ども：27人 ファミリー：8人）（平成30年7月現在）で、教室・大会は380回以上開催され、年間6,100人以上の延参加人数があります。

この総合型地域スポーツクラブは、市民組織によって自主運営される市民のためのスポーツ組織です。参加者の声を聞きながら求められている活動も取り入れ、世代間交流及び地域交流を積極的に行っています。また、ファミリー会員などの制度を設けるなどして、会費についても工夫し、会員数を増やす取り組みが行われています。

この10年間で「総合型スポーツクラブを育成する。」という目標はほぼ達成できたと考えています。

総合型地域スポーツクラブだけが市民スポーツを支える組織ではありませんが、市民が中心となって生涯スポーツを推進していく動きが一層広がっていくことが期待されます。

一方で、京都府民の実態調査では、認知度としては「知らない」が72.1%、加入意向については「わからない」が44.3%という結果が出ており、認知度をさらに上げていくためのPRにさらに取り組む必要があると考えられます。

*参考（平成 29 年度京都府民のスポーツに関する実態調査）

あなたは、「総合型地域スポーツクラブ」を御存知ですか。

活動内容について知っている	5.0%
聞いたことがある	20.0%
知らない	72.1%
不明・無回答	2.8%

*参考（平成 29 年度京都府民のスポーツに関する実態調査）

あなたは、「総合型地域スポーツクラブ」が身近にあれば、加入したいと思いますか。

すでに加入している	1.3%
加入したいと思う	21.4%
加入したいと思わない	26.9%
以前加入していたが、現在は加入していない	1.8%
わからない	44.3%
不明・無回答	4.3%

0

◇ 市民のスポーツクラブの加入状況

市民のスポーツクラブ・サークルの加入状況を見ると、何らかのスポーツクラブ・サークルに加入している市民は26.5%にとどまっております。

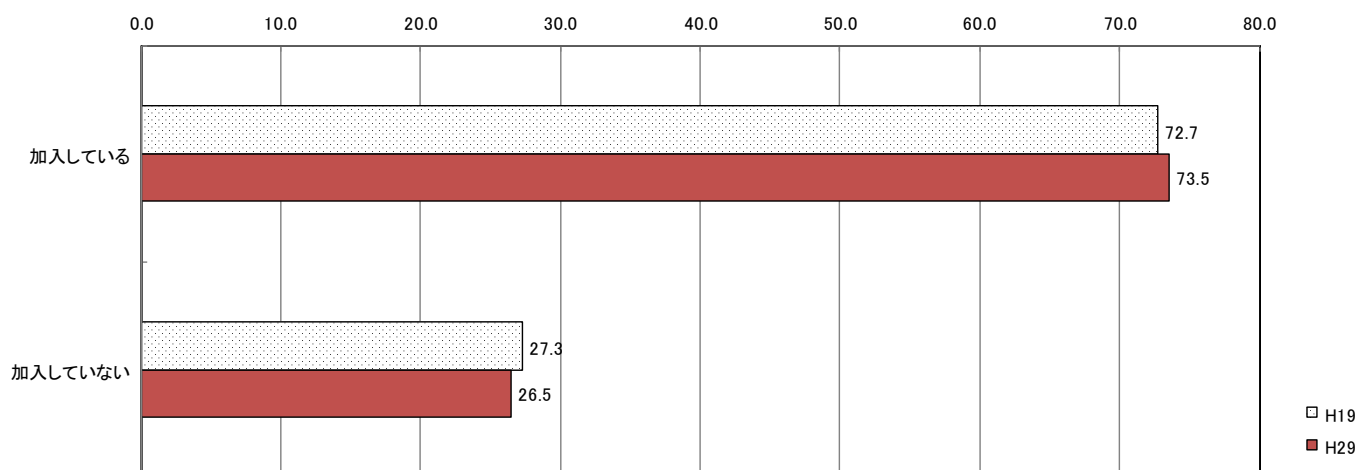
加入している市民の中で最も多いのは「地域のクラブやサークル」（10.1%）であり、「総合型地域スポーツクラブ」に加入しているのは0.7%にとどまる結果となっています。

地域のクラブやサークル、総合型地域スポーツクラブを含めた市民のスポーツクラブ・サークルへの加入を促進するためにも、市内のスポーツ団体等の情報をPRする仕組みの構築が必要です。

表 18 あなたは、スポーツクラブ・サークルに加入していますか。

	H19	H29
加入していない	72.7%	73.5%
加入している	27.3%	26.5%

	H19	H29
職場のクラブやサークルに加入	—	2.0%
学校の部活動やサークルに加入	—	0.3%
地域のクラブやサークルに加入	—	10.1%
民間のスポーツ施設等が開設している 会員制のクラブに加入	—	2.6%
気の合う仲間で作ったクラブやサー クルに加入	—	9.2%
地域の総合型クラブに加入	—	0.7%
その他	—	1.6%
加入していない	72.7%	73.5%



第3章 基本的な考え方

1 基本理念

スポーツを通じた人とまちの元気づくり

スポーツは、体を動かすという人間の本源的な欲求の充足を図るとともに、爽快感・達成感・他者との連帯感等、精神的な充足を図り、さらには、体力の向上・ストレスの発散・生活習慣病の予防など、心身両面にわたる健康の保持増進に大きな効果を得ています。また、競技スポーツに打ち込む選手のひたむきな姿や高い技術は、人々のスポーツへの関心を高め、夢や感動を与えるなど、活力ある健全な社会の形成にも大きく貢献するものです。

さらに、スポーツには目標達成に向かっていく力、お互いを認め合い、自分の個性を大切にできる力など、子どもの「自己肯定感」や「生きる力」を高める働き、社会性を育み、人格形成を養う働きがあります。

また、スポーツを通じて地域の人々が交流を深めていくことは、住民相互の新たな連携、さらには地域貢献など人間関係の広がりや深まりを促進するとともに、一つの目標に向かい、ともに努力し達成感を味わうことなどにより、地域の一体感や活力の醸成につながります。

あわせて、スポーツツーリズムや、多くの参加者・観衆が見込めるスポーツイベントの開催、大規模な大会やスポーツ合宿の誘致など、スポーツを核とした地域の活性化にもつながります。

こうした中、平成20年3月に策定した宮津市スポーツ振興計画に基づいた10年間の取り組みを評価・検証するとともに、平成29年9月に実施した意識調査の結果を十分に踏まえながら、スポーツの持つ「楽しさ」「喜び」や多様な力を最大限に活かし、スポーツを通じて市民の心身ともの健康を高めるとともに、まちの活力を生み出す「スポーツを通じた人とまちの元気づくり」を目指します。

2 計画の目標

本計画では、以下に掲げる4つの基本目標に基づき、「スポーツを通じた人とまちの元気づくり」を目指して、スポーツ施策を推進します。

基本目標1 ライフステージに応じたスポーツの推進

市民の誰もが、それぞれの体力や年齢、技術、興味・目的に応じて、また、障害の有無によって分け隔てられることなく、いつでも、どこでも、自主的・自発的にスポーツに親しむことができる場や機会を創出し、健康で元気な生活の確立と生涯を通じスポーツが暮らしの中に定着する社会の実現を目指します。

基本目標2 多様なスポーツを支える環境の充実

誰もが気軽にスポーツ活動ができる環境づくりに向けて、既存スポーツ施設の整備・充実や活用促進、スポーツに親しむ機会の充実やスポーツに関する情報のタイムリーな提供など、ハード・ソフト両面にわたる環境整備を進め、多様なニーズに対応したスポーツを支える環境の充実に努めます。

基本目標3 まちに夢と元気を与える競技スポーツの振興

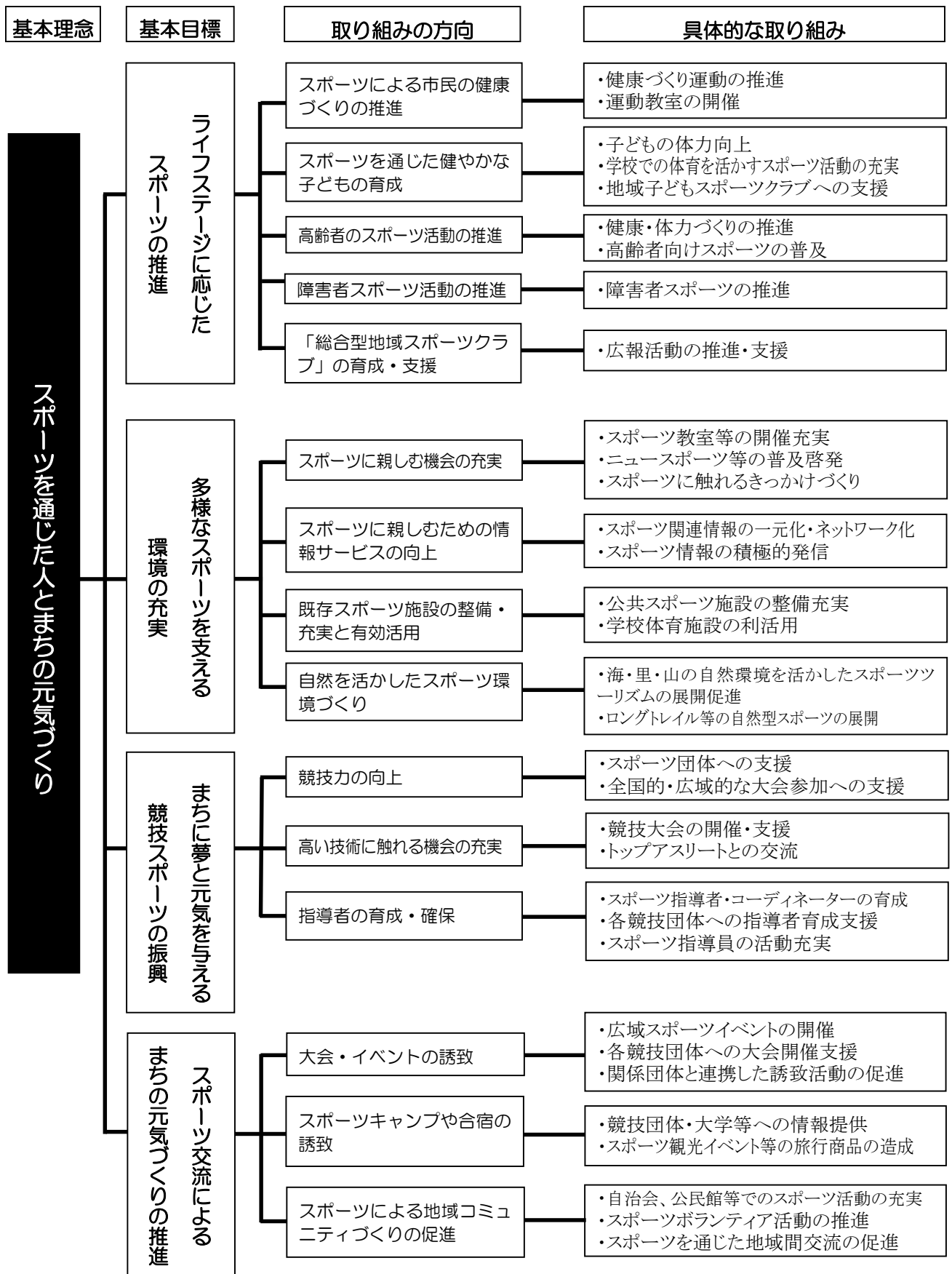
競技人口の増加と競技力向上のため、競技団体組織の活性化と連携強化を図るとともに、スポーツの楽しさを教えてくれる指導者や個人のレベル・目的に合わせた適切な指導ができる指導者の育成、トップアスリートの育成・支援を通じて、まちに夢と元気を与える競技スポーツの振興に努めます。

基本目標4 スポーツ交流によるまちの元気づくりの推進

全国的・広域的なスポーツ大会の誘致及び開催支援により、一流スポーツを間近に見る機会を創出し、市民が感動を共有できる環境づくりに努めるなど、スポーツを「する」「みる」「ささえる」といった、様々な立場で市民がスポーツとの関わりを広げることにより、地域コミュニティの活性化を図ります。

また、本市の豊かな自然環境とスポーツとを結びつけ、スポーツ合宿等が可能な滞在型のスポーツ施設や既存の観光宿泊施設を活用するとともに、各団体と連携を図り、スポーツと観光が融合した事業を実施するなど、スポーツによるまちの元気づくりを推進します。

3 施策体系



4 具体的施策

基本目標 1 ライフステージに応じたスポーツの推進

◇数値目標◇

指標項目	単位	現状値(H29)	最終目標値(H34)
成人の週1回以上のスポーツ実施率	%	32.3%	50.0%
<p>【指標内容】宮津市民のスポーツに関する意識調査結果から設定。国の目標は65.0%(H34)</p> <p>※京都府では、目標値65.0%(H35)に対し、H29年度の現状値は48.7%。</p> <p>宮津市においては、当市の現状値から鑑み、目標値を50%と設定する。</p>			

○ スポーツによる市民の健康づくりの推進

施策名	健康づくり運動の推進
<p>◇健康づくりの観点からスポーツをとらえ、誰でも取り組みやすい歩くことを中心に市民の運動習慣化を推進します。</p> <p>(具体的事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民主体の身近な健康づくりの場「健康広場」の活動支援等を通じた市民へのウォーキングの普及 ・活動量計を活用した運動習慣化の促進 ・体力測定の実施 ・歩く健康づくりのシンボルイベント「天橋立ツデーウオーク」の開催支援 	

施策名	運動教室の開催
<p>◇市民が様々なスポーツを楽しむことができるきっかけづくりの場を提供するために宮津市体育協会、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ推進委員、公民館等と連携し、スポーツ教室等を開催します。</p> <p>また、誰もが気軽に接することのできるニュースポーツの普及に努めます。</p> <p>(具体的事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巡回ニュースポーツ教室の開催並びに同教室への参加をきっかけとした市民の主体的なスポーツの取り組みの推進 ・各競技団体、総合型地域スポーツクラブ等が実施する各種スポーツ教室への支援 ・民間スポーツクラブと連携したスポーツ実施率の向上 	

○ スポーツを通じた健やかな子どもの育成

施策名	子どもの体力向上
<p>◇スポーツをする機会の充実によって、子どものスポーツへの関心を高め、スポーツに取り組む習慣の形成を通じて、子どもの体力向上に取り組めます。</p> <p>◇学校での体育はもとより、就学前期からの運動習慣の取り組みや地域でスポーツを楽しめる環境づくり、適切な指導ができる指導者の養成に取り組めます。</p> <p>◇児童・生徒の健康・体力を向上させるため、日常生活での自発的な運動や外遊びを通して基礎的動作の向上を図ります。</p> <p>(具体的事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少年少女スポーツ教室の開催及び各競技団体等が実施するスポーツ教室等の開催支援 ・総合型地域スポーツクラブによる子ども運動教室の開催 	

施策名	学校での体育を活かすスポーツ活動の充実
<p>◇学校での体育の授業等の中で、スポーツが好きになるような学習活動の充実を図るとともに、競技力の向上を目指します。</p> <p>◇部活動指導指針等に基づき、生徒の生活、健康面に配慮した適切な運動部活動を実施するとともに、競技力の向上を目指します。</p> <p>(具体的事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域、校種間、各競技などの連携強化による競技力の向上 ・地域のスポーツ指導者による運動部活動の指導の促進 	

施策名	地域子どもスポーツクラブへの支援
<p>◇地域及び各種スポーツクラブへの支援を通じ、スポーツへの興味を高めます。</p> <p>(具体的事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ少年団への支援 ・スポーツ少年団への加入促進 	

○ 高齢者のスポーツ活動の推進

施策名	健康・体力づくりの推進
<p>◇高齢者が地域で元気にいきいきと暮らせるように、楽しみながら気軽に参加できる、教室やイベント・健康に関する講座等を実施し、健康づくりを推進します。</p> <p>◇自然の中でウォーキングなどのスポーツを楽しみながら、健康づくりを行なうなど高齢者が身近で気軽にスポーツに親しめる環境づくりに取り組みます。</p> <p>◇体育協会・スポーツ推進委員・総合型地域スポーツクラブ・公民館・健康広場・老人大学等と連携し、運動やスポーツの啓発活動を推進します。</p> <p>(具体的事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者スポーツ教室及び巡回ニュースポーツ教室等への参加促進 ・健康広場等への参加促進 ・グラウンドゴルフ大会等の開催 	

施策名	高齢者向けスポーツの普及
<p>◇スポーツを通じて健康・体力づくりを楽しみ、気分転換など、ふれあいながら気軽に参加できる教室やイベントを実施します。</p> <p>◇高齢者の年齢・体力等に応じたスポーツ指導を行なえる指導者の育成・確保に努めます。</p> <p>(具体的事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合型地域スポーツクラブ等と連携した高齢者向けスポーツ教室等の開催 	

○ 障害者スポーツ活動の推進

施策名	障害者スポーツの推進
<p>◇障害のある人が、障害の種別や程度にかかわらず、誰もが生涯にわたり身近な地域で日常的にそれぞれの興味や関心、欲求に応じてスポーツを楽しめる環境づくりに努めます。</p> <p>◇障害のある人となない人との交流活動の推進を通じて、障害者スポーツの理解普及と市民への意識喚起に努めます。</p> <p>◇身体障害者団体連合会、社会福祉協議会、総合型地域スポーツクラブ等と連携しながら障害者スポーツの普及に努めます。</p> <p>(具体的事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害のある人の障害者スポーツへの参加促進 ・障害のある人となない人が共に行なうスポーツイベントの啓発 ・総合型地域スポーツクラブ等と連携した障害者スポーツの普及 	

○ 「総合型地域スポーツクラブ」の育成・支援

施策名	広報活動の推進・支援
<p>◇「総合型地域スポーツクラブ」は「生涯スポーツ社会」の実現に向け、「いつでも」「だれでも」「いつまでも」スポーツ等の活動に気軽に参加できる環境づくりと、市民の健全な心身の保持増進、豊かなコミュニケーションづくりに寄与することを目的に設置された団体です。</p> <p>ライフステージに応じたスポーツの推進ができるよう、「総合型地域スポーツクラブ」の広報活動の推進・支援に努めます。</p> <p>(具体的事業)</p> <ul style="list-style-type: none">・「総合型地域スポーツクラブ」の広報活動の推進・支援	

基本目標 2 多様なスポーツを支える環境の充実

◇数値目標◇

指標項目	単位	現状値(H29)	最終目標値(H34)
公共スポーツ施設の利用回数	回	11,299	13,000
【指標内容】公共施設利用状況調査結果により設定			

* 公共スポーツ施設：市内の公共のスポーツ施設及び学校体育施設

○ スポーツに親しむ機会の充実

施策名	スポーツ教室等の開催充実
<p>◇体育協会、各種競技団体、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ推進委員、公民館等と連携し、各種スポーツ教室を開催するとともに、既存の教室の充実を図ります。</p> <p>(具体的事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種スポーツ教室の開催並びに体育協会・各競技団体・総合型地域スポーツクラブ・公民館等との連携 ・スポーツ推進委員・総合型地域スポーツクラブが連携した巡回ニュースポーツ教室の開催 ・宮津発祥のニュースポーツの開発 	

施策名	ニュースポーツ等の普及啓発
<p>◇子どもから高齢者まで年齢や体力に関係なく誰でもが気軽に取り組めるニュースポーツの普及に努め、楽しみながらスポーツに親しむ環境づくりに努めます。</p> <p>(具体的事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニュースポーツ教室・イベント・大会等の開催並びに用具等の充実 	

施策名	スポーツに触れるきっかけづくり
<p>◇幼児期からの全身と五感を使った自然な遊びの推進に積極的に取り組むとともに、保護者をはじめとした子どもにかかわる大人への周知啓発に努めます。</p> <p>◇親子が一緒に参加できるスポーツの機会を提供、スポーツを通じた世代を超えた交流の機会づくり、さらにはスポーツを通じたコミュニティづくりにつなげていく取り組みを推進します。</p> <p>◇市民が様々なスポーツに触れ、楽しむことができる場を提供するため、体育協会、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ推進委員、公民館、小中学校 PTA などと連携しスポーツ教室・イベント等の開催を進めます。</p> <p>(具体的事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子・家族でスポーツを楽しむ機会の提供 ・実践活動センター等と連携した市民スポーツデー、ヨガ・トレーニング教室等スポーツに触れるきっかけづくりとなるイベント・教室等の開催 ・各競技団体等と連携した初心者向けスポーツ教室等の開催 	

○ スポーツに親しむための情報サービスの向上

施策名	スポーツ関連情報の一元化・ネットワーク化
<p>◇各種スポーツ関連情報を関係機関、団体等と連携して収集するとともに、市ホームページ上で一元管理し、市民がスポーツに関する情報を得やすい体制の構築に努めます。</p> <p>◇スポーツに関する情報管理をネットワーク化し、市民の多様なニーズに対応できるように努めます。</p> <p>(具体的事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ情報のホームページでの一元管理 ・市内外のスポーツ関連情報のリンク 	

施策名	スポーツ情報の積極的発信
<p>◇市広報誌や市ホームページ等を活用して、市内の各種スポーツ情報や国際大会・全国大会出場者の紹介等の情報を積極的に発信することにより、スポーツへの市民の関心を高め、スポーツに親しみ取り組もうとする機運の醸成を図ります。</p> <p>(具体的事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市のホームページ・広報・SNS などを活用した情報発信 	

○ 既存スポーツ施設の整備・充実と有効活用

施策名	公共スポーツ施設の整備充実
<p>◇市民のスポーツ活動の拠点である公共スポーツ施設・設備の充実、サービスの改善を図るとともに、利活用の促進に努めます。</p> <p>◇施設利用の際は、利用者の意見を聴きながら、利用者の利便性の向上を図るための検討を進めます。</p> <p>◇高齢者、障害者、子育て世代など誰もが利用しやすい公共スポーツ施設環境の充実に努めます。</p> <p>(具体的事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民が気軽に安心して利用できる公共スポーツ施設の充実 ・公共スポーツ施設のバリアフリー化の促進等施設環境の充実 ・専門競技施設・設備の利活用の促進 ・窓口アンケート調査の実施による利用者のニーズの把握と利便性の向上 	

施策名	学校体育施設の利活用促進
<p>◇市立小・中学校の学校体育施設を地域住民へ開放し、地域のスポーツ・レクリエーション活動の拠点として、市民が安全・快適に利活用できるよう促進します。</p> <p>(具体的事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校体育施設の開放 ・学校体育施設・設備の計画的な整備 	

○ 自然を活かしたスポーツ環境づくり

施策名	海・里・山の自然環境を活かしたスポーツツーリズムの展開促進
◇海・里・山などの地域資源を活かし、市民だけでなく観光客も対象としたスポーツツーリズムを展開し、行政・関係団体・業者等と連携したまちづくりを推進します。 (具体的事業) <ul style="list-style-type: none">・観光関係機関・団体・業者等と連携したスポーツツーリズムの推進・天橋立を活かしたウォーカー・ランナー等の誘客の促進	

施策名	ロングトレイル等の自然型スポーツの展開
◇ロングトレイル、シーカヤック等自然活用型スポーツを展開し、新たなスポーツ機会の提供を図ります。 (具体的事業) <ul style="list-style-type: none">・ロングトレイル・シーカヤック等の自然活用型スポーツの展開・自然活用型スポーツの指導者の育成	

基本目標 3 まちに夢と元気を与える競技スポーツの振興

◇数値目標◇

指標項目	単位	現状値(H29)	最終目標値(H34)
全国的・広域的な大会への出場件数	件	28	40
四都市体育大会での2位以上の競技数	競技	2/23	5/23

【指標内容】年間の全国的・広域的な大会への出場件数から設定

* 全国的・広域的な大会…近畿大会以上の大会

* 平成 29 年度の四都市体育大会の競技数:23 競技

○ 競技力の向上

施策名	スポーツ団体への支援
<p>◇宮津市体育協会への支援の継続や連携した事業の実施などにより競技スポーツの振興と競技力の向上を図ります。</p> <p>(具体的事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮津市体育協会への活動支援 	

施策名	全国的・広域的な大会参加への支援
<p>◇全国的・広域的な大会に出場する選手・団体に対して、支援することにより各種スポーツの競技力向上を図ります。</p> <p>◇アマチュアスポーツにおいて優秀な成績をおさめたアスリートや永年にわたりスポーツ活動を支えていただいた方々を顕彰し、その栄誉を称え、広く市民に周知します。</p> <p>(具体的事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国的・広域的な大会出場者への支援 ・優秀な競技者への顕彰 	

○ 高い技術に触れる機会の充実

施策名	競技大会の開催・支援
<p>◇宮津市主催のスポーツ大会を開催するほか、各スポーツ団体主催のスポーツ大会の開催を支援します。 また、小学生から高校生を対象とした競技大会などの開催や各競技団体の開催を支援します。</p> <p>(具体的事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種スポーツ大会の開催 ・各競技団体等が開催する各種スポーツ大会への支援 	

施策名	トップアスリートとの交流
<p>◇トップアスリートによる直接指導や競技を観戦できる機会を設け、トップレベルのプレーを間近で体感する機会を創出することにより、子どもがアスリートを志す意欲の向上に取り組みます。</p> <p>さらには、全国的、広域的な大会の誘致及び開催支援により、選手の競技機会の拡充を図るとともに、市民が感動を共有できる環境づくりに努めます。</p> <p>(具体的事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国的・広域的な大会の誘致及び開催支援 ・トップアスリートを講師として招聘しての講演会・研修会・指導教室等の開催 	

○ 指導者の育成・確保

施策名	スポーツ指導者・コーディネーターの育成
<p>◇様々な種目や競技レベルに対応した各種スポーツ指導者・コーディネーターの育成を推進します。</p> <p>◇体育協会等と連携した各種研修会や講演会の開催及び開催支援をします。</p> <p>(具体的事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ指導者・コーディネーター研修等の開催 	

施策名	スポーツ推進委員の活動充実
<p>◇市民の多様なニーズに対応していくためにスポーツ推進委員の体制や活動内容充実などを図ります。</p> <p>◇巡回ニュースポーツ教室等定期的なスポーツ活動の場を提供するとともに、公民館及び小中学校PTAなどと連携し、身近な場でのスポーツ活動の普及・定着を図ります。</p> <p>(具体的事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員が中心となったスポーツ教室・大会・イベントの開催 	

基本目標 4 スポーツ交流によるまちの元気づくりの推進

◇数値目標◇

指標項目	単位	現状値(H29)	最終目標値(H34)
広域スポーツイベントの年間開催回数	回	7	10
広域スポーツイベントの年間参加延人数	人	4,517	7,000
【指標内容】年間の広域スポーツイベントの開催回数・参加延人数から設定			

○ 大会・イベントの誘致

施策名	広域スポーツイベントの開催・支援
<p>◇「する」「みる」「ささえる」など様々な立場や役割で市民が関わる広域的なスポーツイベントを開催し、地域コミュニティの形成・活性化を図ります。</p> <p>◇全国的・広域的なスポーツ大会・イベントの開催を誘致するための各種支援を行い、大会・イベントの継続開催を促すとともに、府外はもとより、近畿圏外、国外の来訪者を増やし地域の活性化に努めます。</p> <p>(具体的事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国的・広域的なスポーツ大会・イベントの開催・誘致 ・各競技団体等が開催する全国的、広域的なスポーツ大会・イベントの開催支援 	

○ スポーツキャンプや合宿の誘致

施策名	競技団体・大学等への情報提供・集約
<p>◇スポーツキャンプや合宿等を誘致することにより、スポーツを通じた観光振興並びにスポーツ交流を通じた地域づくりを推進するため、全国の競技団体・大学等へ積極的に情報提供を行ないます。</p> <p>◇全国の競技団体・大学等へ当市の競技施設・宿泊施設等の情報を積極的に発信するため情報集約と各種媒体を通じた情報発信に努めます。</p> <p>(具体的事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国の競技団体・大学等への積極的な情報提供によるスポーツキャンプ・合宿の誘致促進 ・スポーツキャンプ・合宿の誘致促進のための競技施設・宿泊施設等の情報集約 	

施策名	スポーツ観光イベント等の旅行商品の造成
<p>◇地域資源や特徴を活かしたスポーツ活動を推進するとともに、関係機関と連携を図りながら、地域の観光資源をマッチングさせた旅行商品の造成を図ります。</p> <p>(具体的事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツイベントや自然活用型スポーツ等を活かした旅行商品の造成 	

○ スポーツによる地域コミュニティづくりの促進

施策名	自治会、公民館等でのスポーツ活動の充実
◇自治会、公民館等でのスポーツ活動を通じ、地域コミュニティの振興を図ります。 (具体的事業) ・自治会・公民館等の主催による地域でのスポーツ大会・イベント等の開催の推進	

施策名	スポーツボランティア活動の推進
◇スポーツボランティア情報の発信を行うとともに、スポーツボランティアの担い手を確保するための仕組みづくりに努めます。 (具体的事業) ・スポーツボランティアの普及・啓発・人材確保の推進	

施策名	スポーツを通じた地域間交流の促進
◇各種競技のスポーツ大会・イベントを通じた、市外あるいは府外の住民との地域間交流を促進します。 (具体的事業) ・各種競技の大会・イベントを通じた地域間交流の促進	

第4章 計画の推進に向けて

1 計画の推進

本計画の推進にあたっては、行政や学校はもとより、宮津市体育協会、宮津市スポーツ推進委員、特定非営利活動法人 Sports Club RAINBOWをはじめ多くの関係機関・団体が相互の役割を補充しながら取り組んでいく必要があります。

各関係機関・団体の代表者や様々な分野と連携・協力しながら、より効率的・効果的な推進方策について検討・協議し、計画の実効性を確かなものにしていきます。

2 計画の評価と見直し

本計画の評価にあたっては、スポーツ関係団体等、関係機関と連携を密にし、基本目標ごとの進捗状況を把握するとともに、必要に応じて事業を見直し、改善を行なうことが必要となります。

については、本計画の進捗状況や数値目標の達成状況を、広報等を活用して公表することで、市民や関係機関・団体などの意見を施策へ反映できるように努めます。

第5章 資料編

○ 第2期宮津市スポーツ推進計画策定経過

月 日	内 容
平成29年7月5日	宮津市スポーツ振興計画策定委員会設置 第1回委員会(現計画の成果と課題の整理、市民意識調査内容など)
平成29年9月	宮津市民のスポーツに関する意識調査の実施
平成29年10月～平成30年1月	意識調査結果のとりまとめ・分析
平成30年1月～3月	計画素案作成
平成30年3月27日	第2回委員会(市民意識調査結果報告、計画素案の検討)
平成30年4月～7月	計画素案作成(関係機関・団体との協議)
平成30年8月29日	第3回委員会(中間案の検討)
平成30年9月21日	教育委員会定例会(中間案の協議)
平成30年10月4日	議会全員協議会で中間案報告
平成30年10月9日～22日	パブリックコメント
平成30年10月23日	第4回委員会(最終案の検討、まとめ)
平成30年10月26日	教育委員会定例会(最終案の協議)
平成30年12月	市長決定

○ 宮津市スポーツ推進計画策定委員会委員名簿

役職	氏名	所属
委員長	木内利明	宮津市体育協会
副委員長	小谷栄一	宮津市スポーツ少年団
	垣尾靖	特定非営利活動法人 Sports Club RAINBOW
	田中誠一	宮津市スポーツ推進委員
	関裕子	宮津市健康づくり運動推進地域リーダー
	橋本知記	公益財団法人宮津市民実践活動センター
	安達泰彦	与謝地方小学校体育連盟宮津・伊根ブロック
	田中章二	与謝地方中学校体育連盟
	戸田清也	宮津市身体障害者団体連合会
	押谷照美	宮津市公民館連絡協議会
	中村義昭	一般財団法人海の京都 DMO 天橋立地域本部
	日下部博一	一般社団法人宮津青年会議所
	永濱敏之	宮津市教育委員会
	田島邦夫	公募による委員

○ 宮津市内の公共スポーツ施設一覧

宮津市民体育館	アリーナ
	柔道場
	剣道場
	多目的練習場
	トレーニング室
宮津運動公園	市民球場
	市民グラウンド
	市民テニスコート
京都府立青少年海洋センター マリーンプア	タックルアリーナ
	芝生の広場
田井宮津ヨットハーバー	
島崎公園	グラウンド
	ゲートボール場
	テニスコート
滝上公園	弓道場
	グラウンド
西宮津公園	グラウンド
	ゲートボール場
	プール
府中公園	グラウンド
	テニスコート
	ゲートボール場
世屋高原家族旅行村	ケビン

○ 宮津市内のスポーツ団体一覧(平成 30 年 7 月現在)

宮津市体育協会

団体名	クラブ数	クラブ員数
宮津与謝野球連盟	12	219
宮津市ソフトボール協会	28	380
宮津ソフトテニス連盟	1	37
宮津バスケットボール協会	7	105
宮津卓球協会	7	42
宮津市陸上競技協会	1	46
宮津市剣道連盟	1	12
宮津与謝柔道連盟	1	28
宮津市弓道協会	1	26
宮津市バレーボール連盟	1	13
宮津市ヨット協会	1	49
宮津市スキー協会	1	29
宮津空手道連盟	2	6
宮津バドミントン協会	2	19
宮津テニス協会	4	10
宮津市ゲートボール協会	1	20
宮津市ボウリング協会	1	17
宮津グラウンド・ゴルフ協会	13	139
宮津ゴルフ協会	1	53
宮津市ターゲットバードゴルフ協会	1	28
計	87	1,278

宮津市スポーツ少年団

団体名	クラブ員数
宮津ホークススポーツ少年団	20
宮津少年サッカースポーツ少年団	80
宮津マーチングバンド	10
計	110

少年・少女スポーツクラブ

団体名	クラブ員数
宮津少年野球クラブ	15
吉津少年野球クラブ	10
橋立イーグルス(野球)	18
宮津ジュニアバドミントンクラブ	27
宮津ミニバスケットボールクラブ	16
コトリッキー(バスケットボール)	12
宮津少女バレーボールクラブ	8
きょうほく(バレーボール)	8
宮津ジュニアヨットクラブ	4
計	118

少年・少女スポーツ教室

教室名	受講者数
宮津ソフトテニス教室	12
宮津少年少女卓球教室	15
宮津市小学生陸上教室	15
上宮津剣道教室	8
栗田少年剣道教室	8
由良少年剣道教室	9
府中剣道教室	1
宮津与謝柔道教室	20
沖縄松林流空手道松真館道場	3
ゴルフジュニアスクール	12
宮津市少年少女ヨット体験教室	19
計	122

